

「大学生によるまちづくりプレゼン」報告書

目次

1	事業の概要	1
(1)	目的	1
(2)	実施大学	1
(3)	参加ゼミナール及びテーマ	1
(4)	実施期間等	2
(5)	大学生によるまちづくりプレゼン発表会	2
2	提案内容の概要	4
(1)	田中 耕市ゼミナール	4
(2)	小原 規宏ゼミナール	5
(3)	清山 玲ゼミナール	6
(4)	土屋 和子ゼミナール	7
(5)	原口 弥生ゼミナール	8
3	大学生によるまちづくりプレゼン発表会 発表資料	9
(1)	田中 耕市ゼミナール	9
(2)	小原 規宏ゼミナール	20
(3)	清山 玲ゼミナール	27
(4)	土屋 和子ゼミナール	42
(5)	原口 弥生ゼミナール	61

1 事業の概要

(1) 目的

未来をリードする大学生が市の提示するテーマに対し、調査・検討を行い、これからの水戸市のまちづくりについて提案することにより、市民と行政との協働による新総合計画づくりを推進する。

(2) 実施大学

茨城大学

(3) 参加ゼミナール及びテーマ

所属学部・所属学科		参加ゼミナール	テーマ
人文社会科学学部	現代社会学科	田中 耕市ゼミナール	中心市街地活性化
	現代社会学科	小原 規宏ゼミナール	水戸ならではの観光振興
	法律経済学科	清山 玲ゼミナール	子育て支援の充実
	法律経済学科	土屋 和子ゼミナール	福祉の充実
	現代社会学科	原口 弥生ゼミナール	地球温暖化対策，循環型社会に向けた取組の促進

(4) 実施期間等

令和4年9月～令和4年11月

日程	内容
9月下旬～10月上旬	参加学生に対する説明（水戸市の概要等） （学生による調査・検討）
10月下旬～11月上旬	中間報告会 （学生による調査・検討）
11月22日（火）	大学生によるまちづくりプレゼン発表会

(5) 大学生によるまちづくりプレゼン発表会

大学生が提案内容について、市長や市職員等に対して発表を行った。

ア 日時

令和4年11月22日（火） 午後1時30分から午後5時

イ 会場

茨城大学 水戸キャンパス 講堂

ウ 出席者

○茨城大学

太田 寛行 学長，佐川 泰弘 理事・副学長（学術・企画・評価），鳥羽田 英夫 理事（社会連携・基金運営），
中村 麻子 学長特別補佐（社会連携）/社会連携センター長，参加ゼミナールほか 76名

○水戸市

高橋市長，田尻副市長，提案内容に関する事務事業を行っている部長及び課長並びに総合計画策定ワーキンググループ職員ほか 100名
（うち47名がリモート会場）

エ 発表会スケジュール

時間	項目
午後 1 時 30 分	開会・あいさつ
1 時 45 分～ 2 時 15 分	田中 耕市ゼミナール
2 時 15 分～ 2 時 45 分	小原 規宏ゼミナール
2 時 45 分～ 3 時 15 分	清山 玲ゼミナール
	休憩
3 時 30 分～ 4 時	土屋 和子ゼミナール
4 時 ～ 4 時 30 分	原口 弥生ゼミナール
	市長総評，閉会

各発表時間の内訳は，発表 15 分，質疑 10 分，準備等 5 分。

2 提案内容の概要

(1) 田中 耕市ゼミナール 【まちを咲かせる～新市民会館を HUB として】

課題等	提案内容
<p>○中心市街地の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 にぎわいが少ない 2 消費行動が少ない 3 店舗利用が少ない 4 歩行者が少ない <p>歩行者が少ないことが多くの課題に影響していると考えられ、最大の1～3の課題は、4の「歩行者が少ない」ことが根源にある。新市民会館に多くの来場者が期待されているが、同館に来てすぐに帰るのではなく、中心市街地を歩いてもらう仕掛けが必要である。</p>	<p>○まちさきプラン</p> <p>新市民会館をHUBとし中心市街地の歩行者数の増加を目指す。歩行者が増加することで、店舗利用の増加、消費行動の増加、さらには、にぎわいの創出につなげていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 水戸らしさをまちなかに まちさきプランの先駆けとして、水戸らしさを押し出す。まちなかににぎわいが戻ってきてほしい（＝まちに花が咲いているような状態になってほしい）という願いを込めて、公共物や店舗の外観を、水戸市の木であり、偕楽園の象徴でもある梅をモチーフにした色で統一し、新たな水戸らしさを創造していく。 2 UME L i n e をまちなかに 新市民会館と市内名所をつなぐ動線として、UME (Universal Mobility Enhancement) L i n e を歩道上に描く。梅を基調とした色で施設名や距離等の案内を表示することで、歩行者の「歩きやすい」と「歩いて楽しい」を実現する。 3 イベントムードをまちなかに 新市民会館で行われるイベントと連動して、その雰囲気（イベントムード）が中心市街地を歩くと伝わるよう、まちなかを演出する。 例) 音楽系イベントであれば、出演アーティストの楽曲を流したり、公式ポスターやフラッグを設置したりする など。 <p>1～3に取り組むことで、以下の要素を持つまちなかとなり、それらの要素によって、歩きたくなるまちなかとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩きやすい ・水戸らしさを感じる ・見て楽しい ・再訪意欲がかきたてられる ・新市民会館への「行きの高揚感」と「帰りの余韻」 ・一体感

(2) 小原 規宏ゼミナール 【水戸ならではの観光振興】

課題等	提案内容
<p>○これからのツーリズムの考え方 マスツーリズムからサステナブルツーリズムへの変化</p> <p>○水戸（市）の観光課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 マーケット調査，DMへの意識や取組の不足 2 市民の観光への関心の低さ コミュニティツーリズム視点の欠如 3 観光者の宿泊率の低さ 経済効果の小ささ，観光関連事業者の経営，雇用への影響 4 空間の商品化の取組の不足 <p>○水戸（市）らしさ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 偕楽園： 誰もが楽しめる（ユニバーサル） 2 水戸藩（中心性を有した歴史都市）： 茨城県央・県北の中心地 3 水戸学： 先進性（サステナブルツーリズム） 	<p>○水戸ならではの観光</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 水戸で朝活 朝にしか見えない水戸の姿を発見することができる。シビックプライドの醸成，人の流れや交流の創出，ロングステイヤーやワーケーションにつながる。 例）千波湖×朝×ヨガ，偕楽園×朝×お茶など 2 景観×ウォークアブルシティ 景観を整備することで，回遊性が高まるとともに，ウォークアブルシティの実現のきっかけになる。ワークショップの繰り返しの開催による市民の観光まちづくりに参画する機会の増加，既存の観光ルートブラッシュアップにつながる。 例）観光視点からのゾーニングの強化とまちのミュージアム化 3 水戸の歴史と食文化をめぐるガストロノミーツーリズム 食文化と地域性を再考する機会となることで，高付加価値化された「本物」の食のツーリズムをメニューとすることができるなど，地域教育やシビックプライドの醸成にも寄与する。また，新たな広域連携のきっかけになる。 例）ガストロノミーツアーやガストロノミーマップの作成など

(3) 清山 玲ゼミナール 【子育て支援の充実】

課題等	提案内容
<p>○現状，課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 隠れ待機児童が存在している。 2 病児・病後児保育について，利用者ニーズに応えられていない。 3 保育園等に子どもを預けることへの不安がある。 4 子育て支援情報が行き届いていない可能性がある。 5 出産，子育てについて，経済的な不安を抱えている。 6 保育士が不足している。 <p>○提案に向けた調査の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アンケート 市内に居住する子育て世帯 772 名 茨城大学生 408 名 2 ヒアリング 市職員，子育てをしている茨城大学教員， 元保育士 	<p>○よりよい子育てができる環境のための施策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育所について <ul style="list-style-type: none"> ・隠れ待機児童ゼロ ・企業との連携による企業内保育所・保育スペースの設置 オフィスに子どもを預けられる条件整備 ・完全給食の実施 2 病児・病後児保育について <ul style="list-style-type: none"> ・手続きの簡略化（インターネットの利用） ・急な利用者に対応できるよう医療機関と連携 3 子どもを預けることへの不安の解消について <ul style="list-style-type: none"> ・入園前の1日体験の実施，合同説明会の実施 ・各園の費用や保育内容等の詳細，動画を市HPに記載 ・入園手続きを分かりやすく簡単にするため，webを活用 ・SNS等を活用した積極的な子育て支援情報の発信 <p>○水戸市に住む人々に子どもを産み育てたいと思ってもらうための施策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経済的な支援 <ul style="list-style-type: none"> ・児童手当の所得制限の撤廃 ・保育料の第2子の半額 ・おむつ・ミルク代の一部支援 ・ランドセルや制服の支援等 <p>○水戸で保育士になりたい・続けたいと思ってもらうための施策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 待遇の改善（賃金上昇） <ul style="list-style-type: none"> ・国への要望，周辺自治体と賃金の上昇を促す取組 ・潜在保育士や新卒保育士への支援の強化 2 待遇の改善（働き方改革の推進） <ul style="list-style-type: none"> ・違法労働を是正し，安心して休める保育職場環境づくり ・デジタル化による業務簡略化

(4) 土屋 和子ゼミナール 【認知症カフェから考える高齢者が集う居場所づくり，介護助手の普及による介護人材不足の解消】

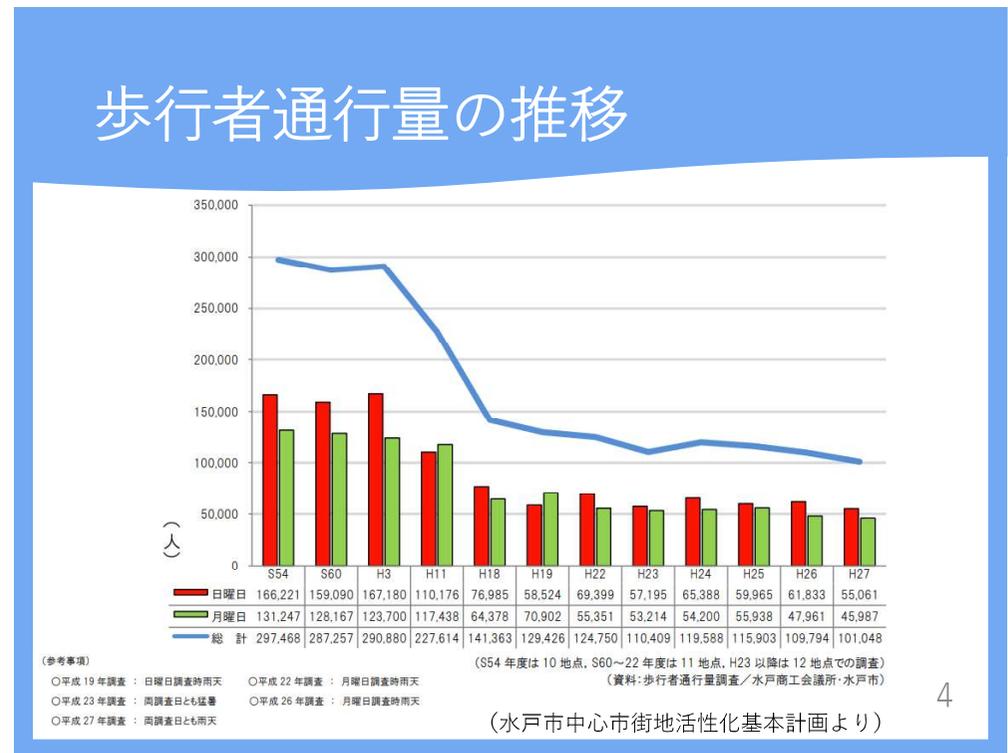
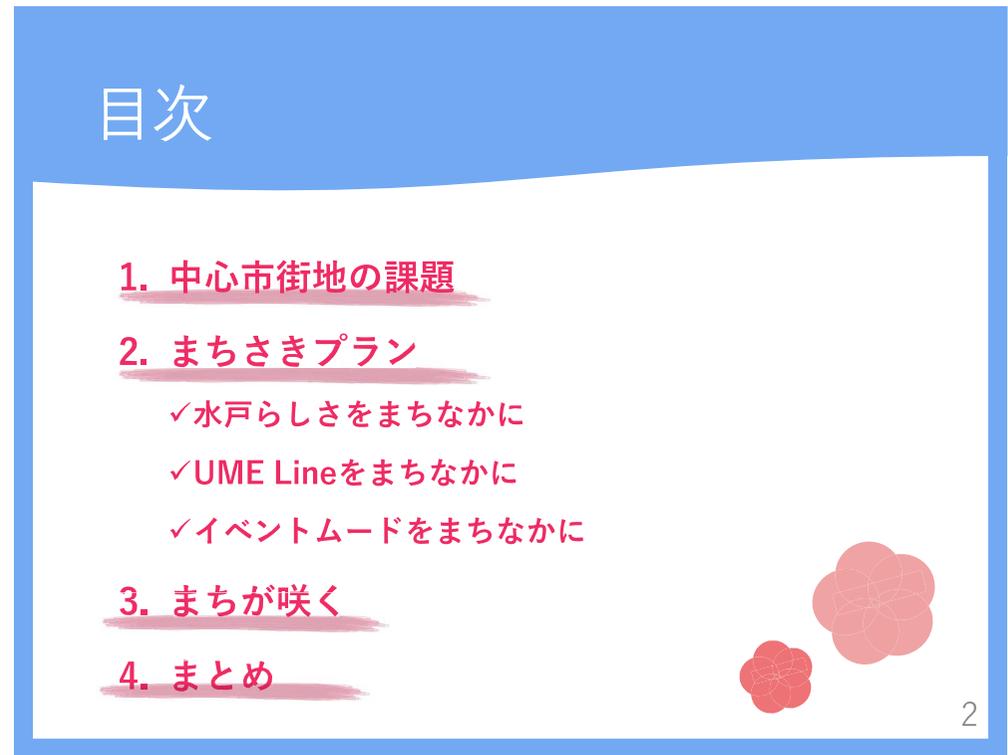
	課題等	提案内容
全体	2025年以降，団塊の世代が後期高齢者となる。誰もが気軽にかつ快適に高齢者福祉サービスを受けられることが必要であるため，福祉のまちづくりは最重要課題である。	福祉のまちづくりに向けた具体的な提案 ①高齢者の居場所づくり，②介護人材の確保
提案①	<p>認知症カフェから考える高齢者が集う居場所づくり～官民連携で創り出す福祉のまちづくり～</p> <p>○現状，課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 後期高齢者が増加するため，認知症カフェのサービス内容の質は落とさず，量を増やす必要がある。現在は，市の施設や高齢者福祉施設のみで開催されている。 現在の市の移動支援では，認知症カフェへの送迎ができない。最寄りの駅やバス停から離れている認知症カフェもある。 情報提供の手法が主に紙ベースで，情報量が少ない。関係団体からICTを活用した情報提供の要望がある。 	<p>○高齢者の居場所づくりの拡大</p> <ol style="list-style-type: none"> 認知症カフェの飲食店等の店舗における開催 認知症カフェまでの送迎として，民間所有の車両を活用した新たな移動支援サービスの創出 市LINE公式アカウントによる認知症カフェに関する情報の積極的な発信 <p>企業のCSR活動を推進し，民間企業と連携して1～3の施策を実現する。これらの施策に取り組むことで，認知症カフェは，認知症当事者及びその家族だけでなく，地域住民なども参加できる交流の場となる。</p>
提案②	<p>介護助手の普及による介護人材不足の解消～高校生が担い手となる福祉のまちづくり～</p> <p>○現状，課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 市内の事業所のうち，6割以上が介護人材不足を訴えている。 令和3年度から，官民連携による介護助手の養成を始める。 全国的には，若年層に介護業界に参入してもらう取り組みが始まっている。 <p>○提案に向けた調査の実施</p> <p>アンケート：水戸市内の高校生452名，茨城大学生174名</p>	<p>○介護助手の普及・推進×若年層の介護業界への参入促進</p> <p>市内に高等学校が多く集積する特徴を生かし，高校生を介護助手として活用し，介護人材を確保する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 高等学校での介護助手養成講座の開催 高校生が施設で介護助手のアルバイトとして働けるよう，市が学校と施設をつなぐ。

(5) 原口 弥生ゼミナール 【水戸市ゴミの分別の現状と対策, コンポスト設置による食品ロスの改善並びに環境意識の向上, 水戸市の温暖化対策に対する施策の提言】

	課題等	提案内容
全体	普段の生活を通じた環境意識の向上	
提案①	水戸市ゴミの分別の現状と対策	
	<p>○現状, 課題</p> <p>令和2年4月からごみの分別方法が新しくなったが, ポスター等の分別表示が切り替わっていないアパートやマンションがあり, 正しい分別が行われていない。</p>	<p>○集合住宅への周知</p> <p>アパート・マンション(特に大学周辺)の分別表示が切り替わっているかを確認する。管理会社等に切り替えを依頼する。</p> <p>○市民への透明袋の配布</p> <p>プラスチックごみを入れる透明・半透明袋を各世帯に無料配布する(透明袋等は回収した廃プラを原料とする)。分別が切り替わったことを周知できるメリットがある。</p>
提案②	コンポスト設置による食品ロスの改善並びに環境意識の向上	
	<p>○現状, 課題</p> <p>1 学校給食から発生する食品ロスの約40%が可燃ごみとして処理されている。生ごみを可燃ごみとして処理するときには, 焼却炉の温度が下がることから, 多くのエネルギーを必要とし, CO₂の排出量も増えるなど, 悪循環が起きている。</p> <p>2 生ごみのリサイクル率が近年上昇していない。</p>	<p>○学校・学校給食共同調理場へのコンポストの設置</p> <p>コンポストを利用して, 生ごみを可燃ごみから資源として活用することで, 悪循環を断ち切ることができ, また, 生ごみのリサイクル率を上昇することができる。</p> <p>学校へ設置することで, 以下の効果が期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産地と消費地でのサイクル ・将来世代の食品ロスの減少
提案③	水戸市の温暖化対策に対する施策の提言	
	<p>○課題</p> <p>地球温暖化を「他人事」ではなく「自分事」として認識する必要がある。小さなことでも多くの人が取り組むことで大きな効果が発揮されることから, その「きっかけ」をつくる必要がある。</p>	<p>○アースアワーでの市民・企業へ向けた節電意識の啓発</p> <p>例) 市内の教育機関, 公共施設, 商業施設でのポスター掲示等</p> <p>アースアワーイベントを行うことにより, 以下の効果が期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の節電意識の共有 ・消灯による節電

3 大学生によるまちづくりプレゼン発表会 発表資料

(1) 田中 耕市ゼミナール

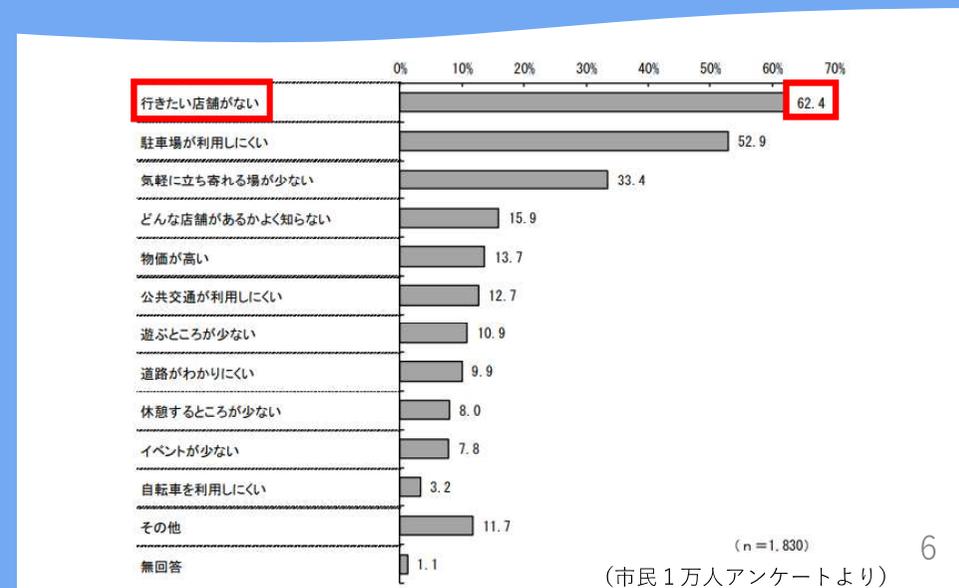


歩行者通行量の推移



5

中心市街地を歩かない理由



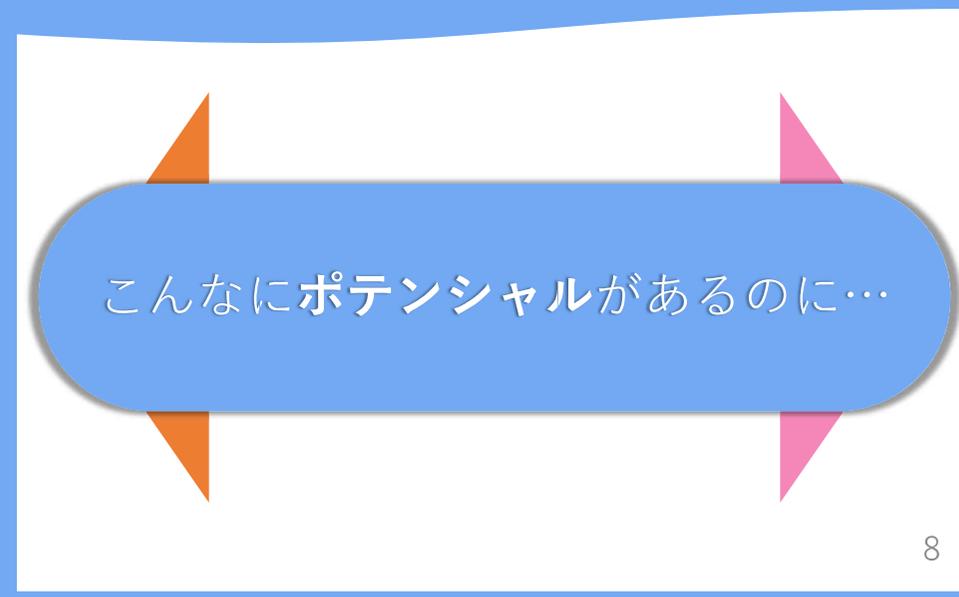
6

新市民会館ができると…



7

新市民会館ができると…

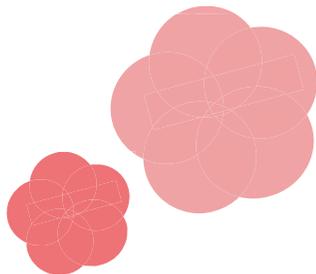


8

せっかく新市民会館ができるのに
もったいない！！

まちさきプラン

水戸らしさをまちなかに



水戸らしさ = 梅!



梅の色をちりばめる！

公共物

店舗

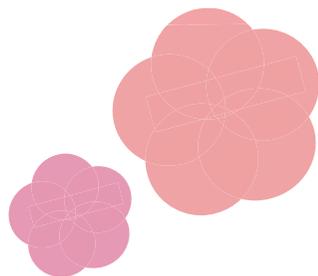
水戸のまちに梅を咲かせる

13



14

UME Lineをまちなかに



15

UMELine とは…

UMELine

[Universal Mobility Enhancement Line(汎用移動用強調線)]

- 新市民会館を**起点**とした各地に伸びる**道しるべ**
- 梅を**基調**とした色
- 歩行者と自転車それぞれの**専用帯**

16

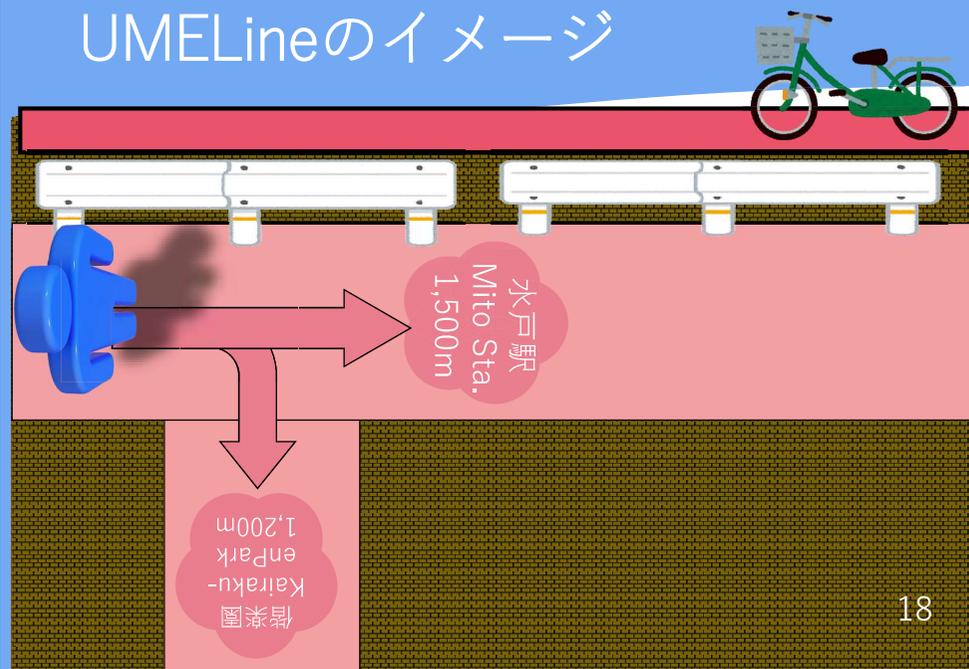
GoogleMapはもういない！？

- 各施設や名所への**動線**を歩道上に表示
- 施設名**や**距離**を表示
- 辿れば主要な目的地にたどり着く！



17

UMELineのイメージ



18



14

新市民会館をHUBとして

新市民会館を**起点**に中心市街地を
歩いてもらう！

新市民会館を**HUB**として花を咲かせる

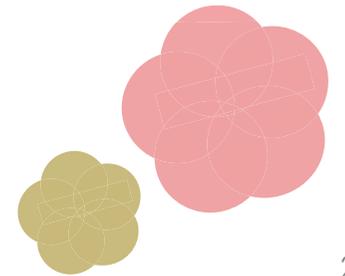
HUBから中心市街地を歩いている状態
= まちが咲いている

20



21

イベントムードをまちなかに



22

イベントムードをまちなかに

中心市街地を歩くと、
新市民会館で**イベント**が行われている**雰囲気**が
伝わってくる

アーティストが来ているという
特別感の演出

23

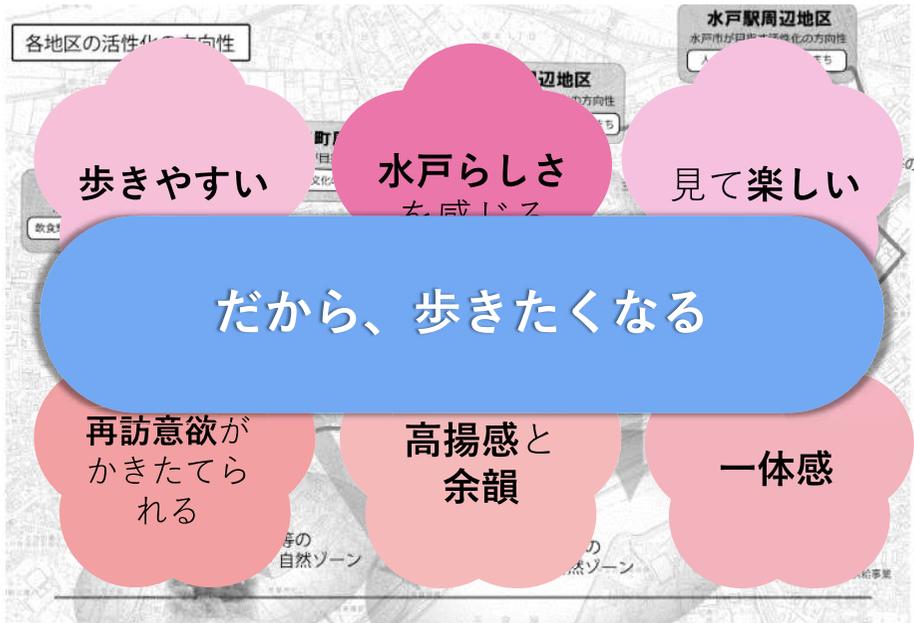
イベントムードをまちなかに

- 中心市街地にそのアーティストの**楽曲**を流す
- 公式**ポスター**や**フラッグ**の設置
- アーティストの楽曲の**歌詞**を掲示
- デジタルサイネージを通りに設置
→ **MV**などを投影
- 歩道橋に**横断幕**
- **まちなか**に**ブース**を展開（物販）

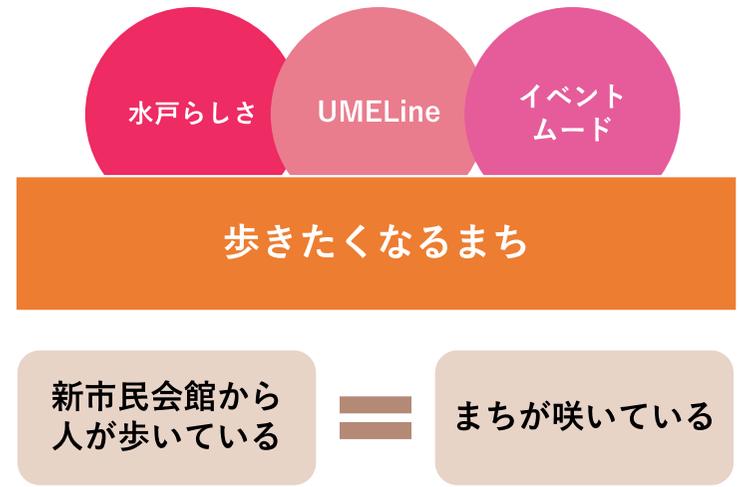


※ゼミ生撮影（松山巡検にて）

24



まちを咲かせる



まちさきプラン

歩行者数の増加

ゆくゆくは…

店舗利用の増加

消費行動の増加

にぎわいの創出

29

10年後の水戸を
咲き誇らせましょう!

30

参考文献

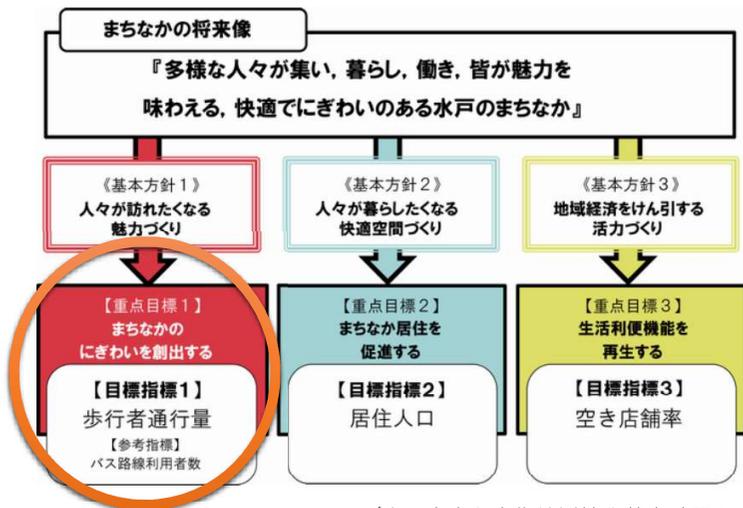
- 水戸市. 2016. 水戸市中心市街地活性化計画
- マイナビニュース. 2015. LCCの価値観を変えるターミナル! 成田空港第3ターミナルの全貌.
<https://news.mynavi.jp/article/20150326-lcc/> (2022年11月20日最終閲覧)
- 広島県. 2014. しまなみ海道サイクリングロードにブルーラインを整備.
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/98/1306197958532.html> (2022年11月20日最終閲覧)

31

付属資料

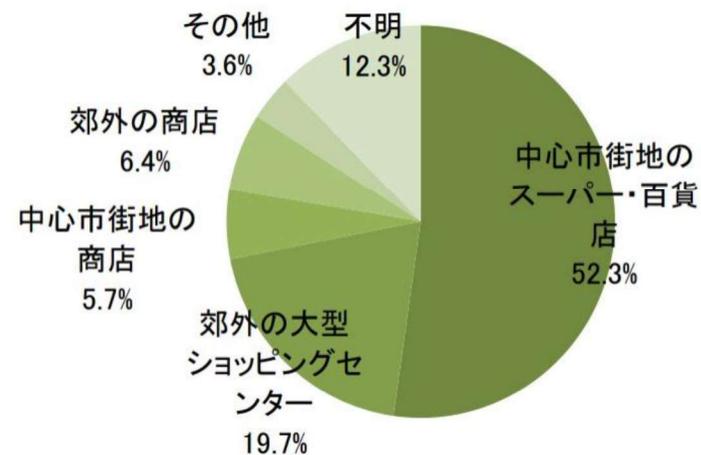
32

中心市街地の課題



33

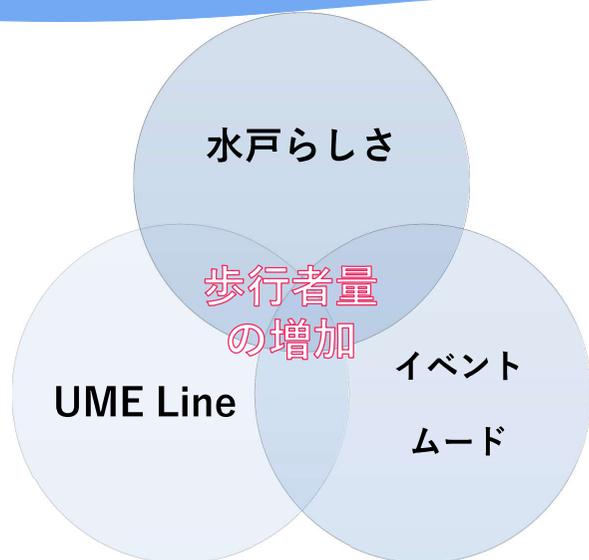
日常の買い物をする場所（水戸市）



(水戸まちなかみらい会議（水戸まちなか調査事業）報告書より)

34

まちさきプランの仕組み



35

紅梅色（こうばいいろ）

#F2A0A1

242,160,161

0,34,33,5

一重梅（ひとえうめ）

#DE8397

222,131,151

0,41,32,13

白梅（しらうめいろ）

#EFE0E8

239,224,232

0,6,3,6

薄紅梅（うすこうばい）

#E597B2

229,151,178

0,34,22,10

梅重（うめかさね）

#F73B70

247,59,112

0,76,55,3

※https://www.fortune-factory.net/colors/index_2.html

36

ロープウェー商店街（松山市）



- 歩行者優先の交通整備、まちなみの統一の結果、歩行者通行量が**3.5倍**に増加



水戸市の事例

- 取り組み課題（計画）
 - ① 利用される居心地の良いオープンスペースづくり
⇒既存のオープンスペースを改良し、新たな使い方を誘発
 - ②歩きたくなる道路環境・交通体系づくり
⇒回遊性向上を目的とし、小さな道路でも歩きやすい環境づくり
 - ③多世代が外出のきっかけとなる魅力ある施設やイベントの発信
⇒マニュアルによるサイン整備、道路占用許可の特例、駐車場の利活用
 - ④1人当たりの歩行量を高める市民活動の支援
⇒水戸まちなかりビング作戦など

39

水戸市の事例

居心地がよく歩きたくなる健康まちづくり

水戸市都市計画課（令和2年）

<https://www.city.mito.lg.jp/uploaded/attachment/17928.pdf>

- 目的：健康増進、徒歩や公共交通に四つ回遊性の向上

38

水戸市の事例

- 小さな回遊拠点とそれをつなぐ戦略
 - ・現在：目的地同士をいき来する直線的な移動
 - ・段階①：拠点の周辺に小さな回遊エリアをつくる
 - ・段階②：拠点周辺が“居心地がよく歩きたくなる”エリアへ
- 新市民会館周辺エリア
 - ・Action 1：国道50号沿いのバス停を小さな交通結節点として利用
 - ・Action 2：再開発や周辺建物と連動した地先活用検討

40

3 大学生によるまちづくりプレゼン発表会 発表資料

(2) 小原 規宏ゼミナール



水戸ならではの の 観光振興

人文地理学 I ゼミナール

2022年11月22日

人文地理学 I ゼミナールの紹介

【研究テーマ】

- **地理学**、ツーリズム・観光、まちづくり・むらおこし
- 今年度は特に**サステナブルツーリズム**をテーマに研究

【地域連携活動】

- **笠間市**（食でまちづくりに取組む市民グループ「いな吉会」との協働）
- **常陸大宮市**（道の駅を媒介とした地域活性化をテーマに協働）

いな吉会 



写真はコロナ禍以前の活動のものです



かわプラザ 

2

発表の流れ

1. これからのツーリズムの考え方
2. 水戸(市)の課題
3. 「まなざし」と「らしさ」
4. 水戸ならではの観光①「水戸で朝活」
水戸ならではの観光②「景観×ウォークアブルシティ」
水戸ならではの観光③「水戸の歴史と食文化をめぐる
ガストロノミーツーリズム」
5. まとめ
6. 参考文献・資料

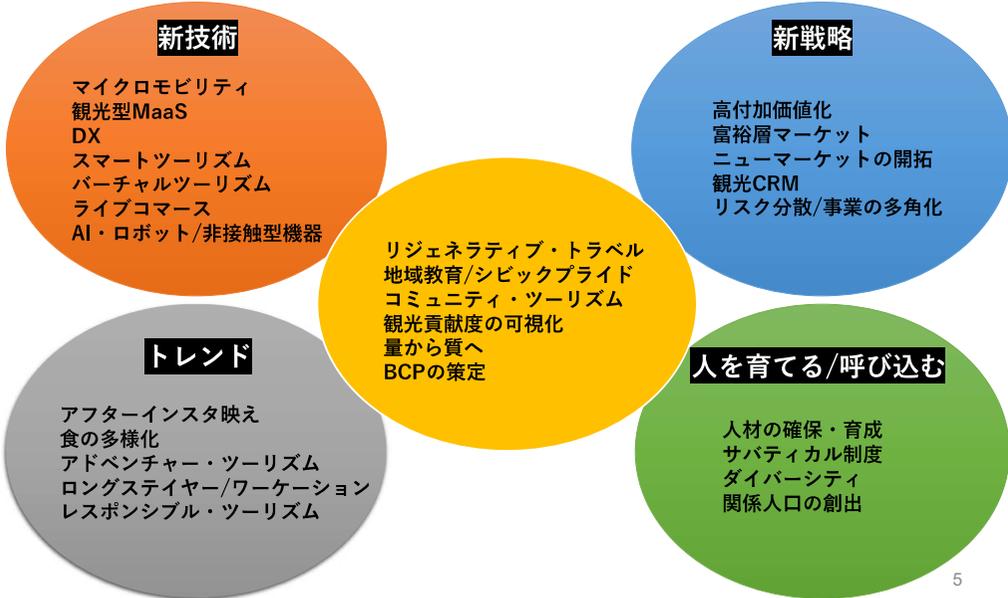
3

1. これからのツーリズムの考え方

【マスツーリズムからサステナブルツーリズムへ】

- 域外のコンサルタントや広告代理店などによる画一的な観光開発
→ 「らしさ」や「まちづくり」視点の欠如
- ホスト・ゲスト(人材の育成や地域教育)(リピーターやサポーター、関係人口)視点の欠如
- レスポンシブル視点の欠如（深刻化する観光公害）
- ユニバーサル視点の欠如

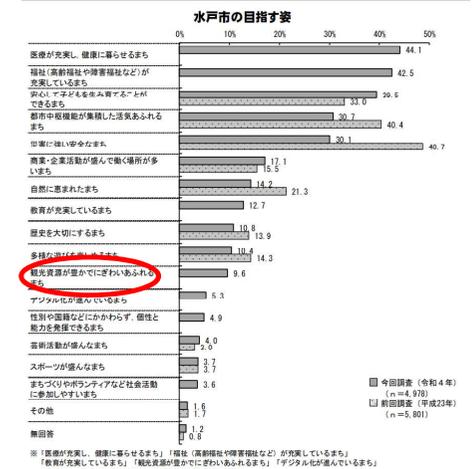
4



問4 あなたは、これから水戸市がどのようなまちを目指していくのが望ましいと考えますか。(〇は3つまで)

(n=4,978) (単位:%)

1. 安心して子どもを育てることができるまち	39.9	10. 歴史を大切にすまち	10.8
2. 教育が充実しているまち	12.7	11. 芸術活動が盛んなまち	4.0
3. 福祉(高齢福祉や障害福祉など)が充実しているまち	42.5	12. 自然に恵まれたまち	14.2
4. 医療が充実し、健康に暮らせるまち	44.1	13. まちづくりやボランティアなど社会活動に参加しやすいまち	3.6
5. 災害に強い安全なまち	30.1	14. スポーツが盛んなまち	3.7
6. 都市中核機能(行政、商業、業務、教育、文化、医療など)が集積した活気あふれるまち	30.7	15. 性別や国籍などにかかわらず、個性と能力を発揮できるまち	4.9
7. 多様な遊びを楽しめるまち	10.4	16. デジタル化が進んでいるまち	5.3
8. 観光資源が豊かすぎないあふれるまち	9.6	17. その他	1.6
9. 商業・企業活動が盛んで働く場所が多いまち	17.1	無回答	1.2



引用:水戸市(2022.10)「あなたと描く水戸の未来ー市民1万人アンケート報告書」6

3 市の抱える課題

宿泊者が少ない → 観光消費額が少なくなる

水戸市の観光消費額【推計】 ※非公表

年	水戸市観光 交流人口		(上段:集客数/下段:市人数)		(上段:集消費単価/下段:市消費額)		水戸市の観光消費額 (推計額)	
	宿泊	日帰り	宿泊消費単価	日帰り消費単価	宿泊消費単価	日帰り消費単価	宿泊消費額	日帰り消費額
2021 R3	1,616,100人	10.2%	89.8%	23,282円	4,471円	10,326,426千円	103億円	
2020 R2	1,426,000人	12.1%	87.9%	23,617円	3,763円	8,791,706千円	86億円	
2019 H31/R1	3,741,700人	12.2%	87.8%	25,023円	3,559円	23,114,747千円	231億円	
2018 H30	3,676,200人	12.3%	87.7%	23,313円	3,949円	23,273,192千円	233億円	
2017 H29	3,965,900人	12.9%	87.1%	22,838円	4,239円	26,326,717千円	263億円	
2016 H28	3,730,700人	12.9%	87.1%	24,665円	3,921円	24,050,914千円	247億円	
2015 H27	3,674,100人	13.8%	86.2%	22,860円	4,437円	25,642,921千円	256億円	

※茨城県観光客動態調査結果(市町村別入込客数、日帰り・宿泊別入込客数構成比、1人当たりの消費額の平均)から引用

水戸市の方からいただいた資料より引用

2.水戸(市)の観光課題

- ✓マーケット調査やデータの不足、DM(デスティネーションマネジメント)への意識や取組みの不足
→市独自の観光動態調査の統計が見つからない
- ✓市民の観光への関心の低さ(コミュニティツーリズム視点の欠如)
- ✓観光者の宿泊率の低さ
- ✓空間の商品化(外にも魅せるまちづくり)

3.人文地理学 I ゼミ生の「まなざし」

- ◆近隣自治体から水戸(市)へ4年間(3年間)、あるいは7年間(6年間)通学(駅利用)し、**観光地理学を専攻**する大学生のまなざし(ただし新型コロナ禍)



9

3.水戸(市)「らしさ」の抽出

- ◆**借楽園**
→誰もが楽しめる(ユニバーサル)
- ◆**水戸藩**(中心性を有した歴史都市)
→特に茨城県央・県北の中心地(DMO)
- ◆**水戸学**
→先進性(サステナブルツーリズム)



10

4.水戸ならではの観光

- ① 水戸で朝活
- ② 景観×ウォークアブルシティ
- ③ 水戸の歴史と食文化をめぐる
ガストロノミーツーリズム

①水戸で朝活

いつも朝に通勤・通学でせわしなく行きかう水戸で、たまには朝をゆっくりと過ごしてみる。朝にしか見えない水戸の姿が発見できるかも？

- ◆市民やコミュニティが、ゲスト・ホストになる可能性がある
⇒**シビックプライドの醸成**
- ◆海外のようなライフスタイルが水戸に定着する可能性がある
⇒**人の流れや交流に変化**
- ◆ライフスタイルを強調
⇒**ロングステイヤーやワーケーションの特徴**になる

【水戸のスポット×朝×体験】

例えば…千波湖×朝×ヨガ 借楽園×朝×お茶 図書館×朝×読書 などなど…

12

①水戸で朝活

【キーワード】

ニューマーケットの開拓、ロングステイヤー/ワーケーション、シビックプライド、人材の確保・育成、関係人口の創出、リジェネラティブ・トラベル

【主体】

市民(例えばプロのインストラクターとそのコミュニティ、市民サークル)、ボランティア、市内の学生、民間など

13

②景観×ウォーカブルシティ

街並みや景観が良い場所(規則性や統一性のある街並み)に人は訪れる。

- ◆景観を整備
⇒**回遊性が高まる**とともに、ウォーカブルシティの実現への**きっかけ**にもなる
- ◆観光まちづくりをテーマにワークショップを繰り返し開催
⇒より幅広く市民が**観光まちづくりに参画する機会を増やす**ことができる
⇒既存の**観光ルートのブラッシュアップ**にもなる

例えば…

- 観光視点からのゾーニングの強化とまちのミュージアム化(TDSのようなイメージ)、エリアやテーマごとの周遊ルートの装飾(店舗の2階や3階であれば比較的進めやすくまちをより立体的に魅せることができる)
- 水府提灯をまちなかの飲食店と連携し、店の看板として飾ってもらう(直島のアートプロジェクトの「のれんプロジェクト」のようなイメージ)



大手門・水戸学の道の装飾イメージ

14

②景観×ウォーカブルシティ

【キーワード】

マイクロモビリティ、高付加価値化、ユニバーサル、観光貢献度の可視化、シビックプライド、コミュニティ・ツーリズム

【主体】

庁内連携(ワークショップの開催と都市整備)、地域の匠とそのコミュニティ、デザイナー、商店と商店街、市民ボランティア、市内の学生など

15

③水戸の歴史と食文化をめぐるガストロノミー・ツーリズム

料理を中心として芸術、伝統や歴史などの文化的要素を考える総合的な学問であるガストロノミーのプロジェクトを大きく立ち上げることで、食文化と地域性を再考する機会となる。

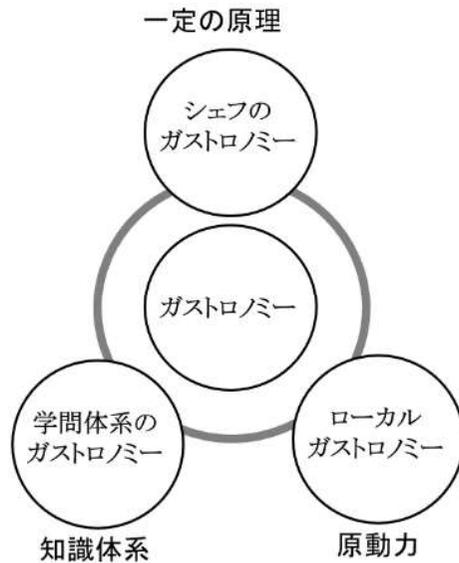
- ◆高付加価値化された「本物」の食をツーリズムのメニューとすること、シェフや研究者、市民からなる新たなコミュニティを創出することが可能
⇒**地域教育**や**シビックプライドの醸成**にも寄与
- ◆水戸を食文化の観点から広域的に捉え直す
⇒新たな**広域連携のきっかけ**にもなる

例えば…

- ガストロノミーツアーやガストロノミーマップの作成など



16



17

③水戸の歴史と食文化をめぐるガストロノミーツーリズム

【キーワード】

リジェネラティブ・トラベル、地域教育/シビックプライド、量から質へ、高付加価値化、富裕層マーケット、アフターインスタ映え、食の多様化、レスポンシブル・ツーリズム

【主体】

新たなガストロノミープロジェクト(シェフ、生産者、(郷土史家や料理研究家を中心とした)研究者、アーティスト)、

庁内連携、広域連携(県央・県北地域)、

茨城大学地域研究・地域連携プロジェクト「食と地域社会との交流を題材とした地域活性化に向けた社会実験プロジェクト」など

18

5.まとめ

- ①水戸で朝活
- ②景観×ウォーカブルシティ
- ③水戸の歴史と食文化をめぐるガストロノミーツーリズム

以上が茨城大学人文地理学ゼミの学生目線のサステナブルツーリズムを目指した水戸ならではの観光振興案になります。

19

6.参考文献・資料

- ・ 椋尾ひなの 2020.『ガストロノミー概念からみた茨城県北ガストロノミープロジェクトの現状とその意義』2020年度茨城大学人文社会科学部卒業研究.
- ・ ジョン アーリ・ヨナス ラースン 2014.『観光のまなざし』法政大学出版局増補改訂版.
- ・ 村山慶輔 2020.『観光再生-サステナブルな地域をつくる28のキーワード-』プレジデント社.
- ・ 水戸市「水戸市第6次総合計画-みと魅プラン-
- ・ 水戸市「一あなたと描く水戸の未来-市民1万人アンケート報告書」
- ・ 2022年度人文地理学Ⅱ講義資料「今度はディズニーシーを地理学で分析する」

20



ご清聴ありがとうございました！

今年度の追いコンは水戸らしい場所での開催を検討します！！

3 大学生によるまちづくりプレゼン発表会 発表資料

(3) 清山 玲ゼミナール

大学生によるまちづくりプレゼン

子育て支援の充実

労働経済論ゼミナール

プロジェクトメンバー(○印は発表者)

3年: 小野晴香 ○田村魁聖 ○根本麟太郎 ○藤田朋希

4年: 安達彩花 大貫侖奈 ○佐藤綾音 高橋昌太

長嶋光輝 星龍汰 松房瞭 森大起

監修: 清山玲

私たちの提案

1. よりよい子育てができる環境のための施策
2. 水戸市に住む人々に子供を産み育てたい
と思ってもらうための施策
3. 水戸で保育士になりたい・続けたい
と思ってもらうための施策

1

この提案のために行ったこと

- 水戸市在住子育て世帯を対象とするアンケート調査
(回答者数772名)
- 茨城大学の学生を対象としたアンケート調査
(回答者数408名)
- 水戸市役所職員の方々、子育てをしている茨城大学の
教員の方々、元保育士の方へのヒアリング調査

2

1. よりよい子育てができる 環境のための施策

3

待機児童が減るだけでは 解決しない「隠れ待機児童」問題

隠れ待機児童・・・ 待機児童にはカウントされないが
希望した保育所に入れられない子どもたち

- **兄弟で違う園**に通わせなければならない
- 入園したい園ではなく、**入園できそうな園を選ばざるを得ない**
- 入りたくても入れない人がいるのに
育休を延長したかった人が入ってしまったなどのミスマッチ

約200名の方が
希望した園に入れなかったと回答



病児・病後児保育は利用しづらい という声

利用するには・・・

- 事前登録(面談)
- 電話での予約
- 医療機関での受診
- 診断書の提出
- 子育て世帯の声
 - 手続きが多い
 - **当日預けたい**のに対応できない
 - **枠が少なく**て預けられない
 - 職員の給与などの待遇が可哀想

病児保育の特性上、仕方がない部分もあるが
現状では利用したい人のニーズには応えられていない

提案

①保育所について

- 隠れ待機児童をゼロに
- 企業と連携 企業内保育所・保育スペースを
オフィスに子どもを預けられる条件整備
- 完全給食の実施(主食も給食)

②病児・病後児保育について

- 手続きの簡略化
(例:登録・予約にネットを利用)
- 急な利用者に対応できるよう医療機関と連携
(例:医療機関から施設に取次)

子供を預けることへの 不安を解消するために

- ①保育園・幼稚園の見学を充実させてほしい
- ②入園前から保育園・幼稚園の情報を詳しく知りたい

①保育園・幼稚園の見学を充実させてほしいに関して

・入園前に1日体験の実施

- 園内の環境を親子で確かめる
- 子供が入園した際のイメージを具体的に持つ

・保育園・幼稚園合同説明会の実施

②入園前から保育園・幼稚園の情報を詳しく知りたいに関して

○保育園・幼稚園関係

- ・必要な費用、保育内容を市のHPに詳しく記載
動画の掲載

- 比較しやすい
入所後のGAPを減らす
複数の保育園に見学する負担減

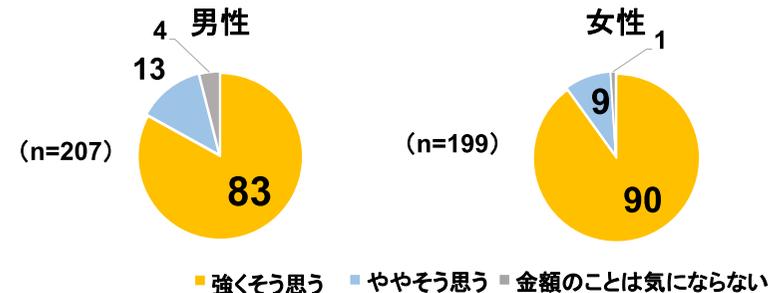
おむつ持ち帰りの有無/延長保育の料金/お弁当の日の有無/お迎えの時間/行事内容等

- ・入園の手続きをわかりやすく簡単にしてほしい
(願書の提出や合否をすべてwebで見れるように)

8

子育て情報に関して大学生の回答

Q.貴方は入所前に、入所時の所要金額や毎月の行事費・食材費・その他の負担額等の情報について知りたいと思いますか？

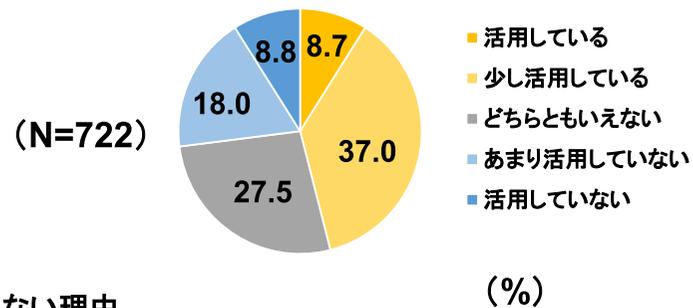


大学生も男女ともに**保育園・幼稚園の詳しい情報を知りたい**と回答する方が大多数

9

活用していると回答した方は半数以下

子育て情報や制度はどの程度活用していますか



活用しない理由

- ①情報がどこに掲載されているかわからない
- ②どのような情報があるかわからない

→ 現状、子育て世帯に十分に情報が行き届いていないのではないかと

10

様々な媒体からの情報提供が求められる

・市役所側からの情報提供

→LINE、HP、広報誌等で周知はしている

情報の入手手段として便利だと思うものはどれですか。(複数選択可)

チラシなどの紙	325(42.1%)
ホームページ	433(56.1%)
SNS(Twitterなど)	383(49.6%)
特にない	57(7.4%)
その他	61(7.9%)

周知の仕方を変えていく必要がある

11

情報を周知させるための提案

忙しい中情報を調べるのが大変という意見が多数
→水戸市側がさらに積極的に情報を発信する必要がある

○チラシ

- ・市報のほかに、小児科や保育園等と連携

- ・チラシを設置するだけでなく、行事ごとにその都度配布していくべき

○SNS: LINEを有効に活用していくべき

提供サービスの例

- ・月齢・年齢を登録すると必要な情報が送られる
- ・ほしい情報を請求出来る
- ・様々な検診の日程などが自動的に配信される

12

2. 水戸市に住む人々に子供を産み育てたいと思ってもらうための施策

13

水戸市の制度紹介

➤ 児童手当

- ・中学校修了前の児童
- ・所得制限を超える世帯には**児童一人当たり5,000円**

➤ こども医療福祉費助成制度(マル福)

- ・18歳に到達した最初の3月31日まで
- ・外来の場合、**医療機関ごとに月2回まで、600円自己負担**

➤ 子育て世帯生活支援特別給付金(令和4年8月)

- ・**児童一人につき10万円**(国5万円、水戸市独自の上乗せ5万円)

➤ 水戸市ひとり親世帯生活応援特別給付金(令和4年11月)

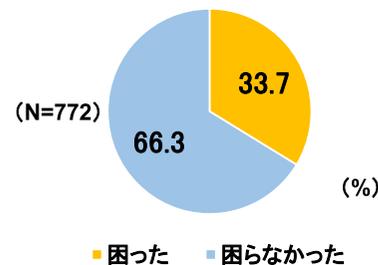
- ・**児童一人当たり一律5万円**

14

経済支援は少子化対策

～子育て世帯～

経済的な理由から、子育てに困ったことはありますか



・4人目を妊娠したが、上の3人の成長に伴う**養育費**や**生活費**等を考慮し、中絶した

・3人目を望んでいたが、子育てにかかる**経済的理由**で前向きに考えられず、**諦めた**

・第二子を希望していたが、**不妊治療**に通うお金がなく治療には通えなかった

ひとり親や所得に関係なく、**経済的な面で深刻な問題を抱えている人が多く存在する**

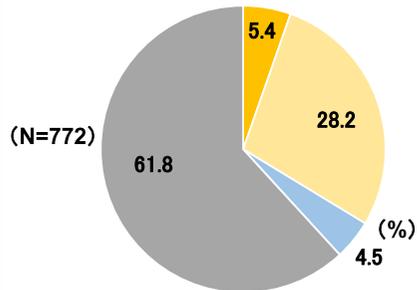
31

15

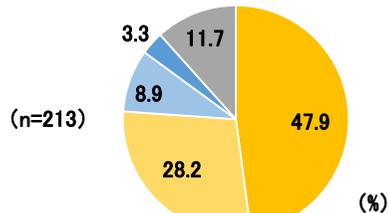
経済支援は少子化対策

～子育て世帯アンケート～

今後出産予定はありますか



どのような条件・環境が整えば産みたいと考えますか



■ 家計 ■ 仕事との両立
■ 夫の家事育児負担の増加 ■ 保育サービスの質

■ ある ■ 条件・環境が整えば産みたい ■ 現在妊娠中である ■ ない ■ その他

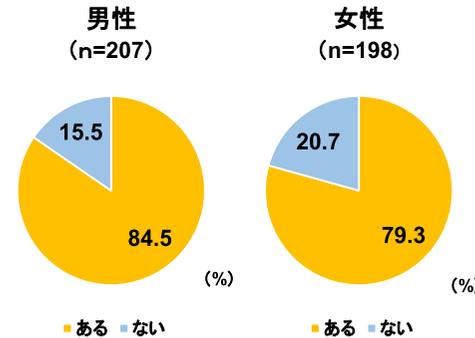
→条件・環境次第で出産したいと考える多くの人は、特に**経済面**で不安を抱えている

16

経済支援は少子化対策

～大学生アンケート～

Q.育てる子供の数は、子育ての環境や条件によって増える可能性はありますか？



男女ともに、約8割の人が環境や条件によって、育てる子供の数が変わると考えている

17

経済支援は少子化対策

出産をしたいと考えている人はいる
しかし、**経済面で不安**を抱えており、諦めている人も存在する



経済支援を行えば、出産をする人が増加する
少子化対策にもつながる

18

経済支援先進事例

○兵庫県明石市

➢医療費

・高校3年生まで**無償化**(2021年7月～)

➢第二子以降の**保育料完全無償化**

・保育所・幼稚園市外の施設もOK
・兄弟姉妹の**年齢**も関係なし
・親の**収入**も関係なし



➢中学校の**給食費が無償化**(2020年4月～)

・**所得制限なし**

19

県内自治体の参考事例

○日立市

- 第2子以降の3歳未満児保育料 無料
- 高校卒業まで医療費無償(所得制限なし)
- 出産祝い金(第1子3万円、第2子5万円、第3子10万円)
- ランドセル・スクール鞆支給

○常陸太田市

- 新婚家庭への家賃助成
 - ・1.5万円/月 最大48月間
- 乳児おむつ購入費助成
 - ・対象: 満1歳未満のお子さんを持つ保護者
 - ・助成額: 乳児1人に付き2万円を上限

4年間で
72万円

20

経済的に支援するための提案

➢ 児童手当の所得制限の撤廃

- ・所得に関係なく、子育てには多額のお金がかかる

➢ 保育料、第2子半額、第3子以降完全無償化

- ・月齢が低い子、保育料が高い子どもの保育費支援
- ・子どもの年齢差に関わらず支援(上の子が小学生でも保育費支援)

➢ おむつ・ミルクの支援

- ・毎月3,000円分ほどの支援
- ・訪問型にすれば、子供の育成状況の確認や、親の悩み事など相談できる

➢ ランドセルや制服の支援、学用品の購入見直し

- ・ランドセルや制服は学校には必需品だが高価で親の負担も大きい
- ・→良い状態の制服やランドセルを回収・配布、半額支援、全額支援など
- ・セレモニーの時しか着ない小学校の制服の廃止など

3. 水戸で保育士になりたい・ 続けたいと 思ってもらうための施策

～元保育士へのヒアリングを中心に～

22

保育士不足は喫緊の課題

- ・保育士の不足は保育施設でも水戸市でも共通認識
- ・先生がトイレ行くだけで国基準の人数が満たせない
- ・短大や専門学校なども多く、保育士になりたい人はたくさんいるのではないか
- ・続けられる、続けたいと思えるようにするのが重要

賃金の低さと労働環境を改善すべき

23

保育士の厳しい労働環境

<上がらない賃金>

- ・正社員二年目:手取り約16万
- ・パート:911~1100円

・勤続年数が増えても
大幅な昇給は期待できない

・サービス残業が常態化

通常 8時~17, 18時
早番 7時~17, 18時
遅番 ~19時まで
(先輩いると帰りにくいケースも)

<進まない働き方改革>

- ・休みのとりにくい環境
(同僚との人間関係など)



仕事を続けづらい状態が発生

- ・未だに紙文化
管理職の年齢層が高く
変えようとしていない
(無駄な仕事が多いなど)



保育業界に進化がない

24

賃金上昇に向けて

- ・国の定める基準が存在
- ・市町村間で差をつけるのは難しい
- ・保育士の業務は責任重大
- ・賃金を上げずに数を増やすには限界



国への要望とともに周辺の自治体と
賃金の上昇を促す必要

加えて...

- 潜在保育士を活かす政策→10万円援助
- 保育士になりたい学生を支援する政策→2万円援助



これらをさらに強化していくべき

25

働き方改革の推進

・違法労働を是正し、安心して休める保育職場を

→労働局とも協力しながら、保育士の労働環境
の実態を調査し、改善を促すべき

年休がとれ残業時間が短く

サービス残業がない職場に！

・デジタル化による業務簡略化

→民間のIT企業とも協力しながら、業務のIT化を
推し進めるべき

26

最後に

今回の調査におけるアンケートやヒアリングに
ご協力いただいた

水戸市職員の方々、子育て世帯の方々
茨城大学の教職員や学生の方々、元保育士の方
ご協力ありがとうございました

27

参考資料①

労働経済論ゼミナール(2022) 「水戸市の保育行政・子育て支援に 関するアンケート」

～Q19 自由記述からの抜粋

28

7. 保育行政への要望や、保育所・幼稚園・認定こども園に対して、ご意見・ご要望等ございましたら具体的に教えてください。

<保育関連費用>

- 3歳未満の保育料がかなり高額なため見直して欲しい。
非課税世帯への優遇は分かるが、中間所得世帯以上は負担がかなり過ぎていて何のために働いているか分からなくなる時がある。
- 無償化の範囲外の出費負担が多いため減らしてほしい。
- 保育料がほかの市と比べて高いため安くしてほしい。
- 水戸市も他の市と同様に所得と年齢関係なく2人目半額にしてほしい。
(二人目が産めない)
- 延長保育の料金をもう少し安くしてほしい。
- 保育料の所得制限を緩和してほしい。
- 入園時に3万円もする特殊な形のお昼寝布団を買うように言われたり、園独自のルールを記載してほしい。
- 園が行事を撮影禁止にしておりDVDを買わないといけなが高い
- 保育園に入れてる時点でほとんどの方が共働きなので、もっと親の負担を軽くするように水戸市から保育園へ働きかけてほしい。

29

<入所関係>

- 第一子が障害があるが、保育所に相談しても入園を断られるばかりで、児童発達支援などの情報をもらえず、不安で辛かった経験があるため、保育園に対し支援先や相談先、児童発達支援などとの情報共有により、親に寄り添った対応してほしい。
- 二人目の育休中は、上の子を保育園に預けられない、また、同じ保育園に通えるか、二人同じ保育園に入れるかどうかも怪しいと聞き、産後体調が落ち着かなかったので困っているため改善してほしい。
- 家庭の都合で保育園が見つからないときに市役所も助けてほしい。
(保育園と相談してといわれた)
- 様々な事情があって、すぐに入園させたい人や、兄弟姉妹で一緒に預けたい人、できるだけ長く預けたい人などのニーズに合わせて保育園を選べるようにしてほしい。
(収容人数を満たしていればいいのではなく、その人の希望する園に入れる工夫や努力をもっとしていただきたい。)
- 待機児童になってしまったため通いたい園に通えるようにしてほしい。

35

- 住まいの地区の保育所に入れるようにしてほしい。
- 土日・祝日休みをうたう保育園には完全に土日・祝日休みの世帯の方のお子さんを優先にはいれるよう、また平日休みの仕事希望の求職者や土日も仕事がある可能性の世帯のお子さんは土日・祝日も預かってくれる保育園に優先的に入れるようもう少し利用者一人一人の希望も汲み取ってほしい。
- 求職活動中でも保育園を利用できるようにしてほしい。
(仕事をするために保育園を利用したいのに、仕事をしていないと保育園を利用できないジレンマ)
- 2号で入れる子ども園の2号枠を拡充してほしい。
- 保育園入園決定のプロセスが不透明。保育の必要性の高低を点数化するなどして、自分の順番や何点まで入園出来たのか確認したい。申込の際、市役所に確認したが面倒に思われ話も聞いて貰えず、対応に不信感を持った。

31

<病児保育>

- 病児、病後保育を充実してほしい。
- 子どもが体調を崩した時預け先に困るためもっと充実してほしい。
- 普段通り慣れている保育園で病児保育を行えるようにしてほしい。
- 病児保育が少なく、病気がはやっているときは毎日埋まっていて使えない。

<延長保育・土日祝日保育>

- 保育園へ預けられる時間も決まっているので、働ける時間も職種も必然と限られてしまうので延長保育などにも柔軟に対応できるようにしてほしい。
- 延長保育を第一号認定の家庭でも気兼ねなく使えるようにしてほしい。
- 祝日預けられる所を増やして欲しい。
- 土曜の保育につき、一か所の保育所に集約してほしい。

32

<一時保育>

- 求職活動中でも保育園を利用できるようにしてほしい。
(仕事をするために保育園を利用したいのに、仕事をしていないと保育園を利用できないジレンマ)
- 保育園の土日一時預かり許可の基準を緩和してほしい。
(入院などどうしようもないときに預けられるように市から働きかけをしてほしい。)
- 親が働いていなくても、妊娠中や上の子の行事などの際に気軽に預けたい。(妊婦健診がコロナ禍で子連れ禁止となり預け先がない)
- 市で公表している一時保育をやっている園の一覧で○のところに連絡しても預かりやってませんと言われることがあるので、きちんと調べて記載してほしい。

33

<保育内容>

- 通園バス内への園児置き去りは、絶対に生じないようにしてほしい。
(所在確認)
- 欠席時の出欠確認をしっかりしてほしい。
- 発達障がいをもつ子どもに対しての理解とそれぞれの障がいに合わせた知識と知恵を深めて欲しい。幼稚園等から小学校に上がるステップが大きすぎる。もっと滑らかになれば、不登校も減らせるのではないか。
- 主食の持参は衛生面で不安があり、個人負担でも良いので対応してほしい。
- 他の自治体で出来ているのだから、ご飯くらい保育所で出して欲しい。
- レクリエーションやイベントが少なく感じるため園内でのイベントを増やして欲しい。
- 第一子が障害があるが、保育所に相談しても入園を断られるばかりで、児童発達支援などの情報もらえず、不安で辛かった経験があるため、保育園に対し支援先や相談先、児童発達支援などの情報共有により、親に寄り添った対応してほしい。(再掲)
- 幼稚園入園まで家庭で過ごす未就園児対応のイベントやサークルなどをもっと充実させてほしい。

34

<その他>

- 主食の持参は衛生面で不安があり、個人負担でも良いので対応してほしい。
- 市で公表している一時保育をやっている園の一覧で○のところに連絡しても預かりやってませんと言われることがあるので、きちんと調べて記載してほしい。(再掲)
- 入園時に3万円もする特殊な形のお昼寝布団を買うように言われたり、園独自のルールを記載してほしい。(再掲)
- 行事も保育園任せであるため、市役所も介入できず従うしかないのもやめてほしい。(園が行事を撮影禁止にしておりDVDを買わないといけないうちが高い。)(再掲)
- 第一子が障害があるが、・・・中略・・・不安で辛かった経験があるため、保育園に対し支援先や相談先、児童発達支援などの情報共有により、親に寄り添った対応をしてほしい。(再掲)
- 保育所での様子が写真や動画で見れる機会が少ないため市が保育園と連携して写真を掲載してほしい。
- 保育士の待遇を改善してほしい。

35

9. 認可保育所(園)以外の施設・サービスを利用された方は、その感想を教えてください。(病児保育・一時保育含む)
ご意見・ご要望等ございましたら、そちらも併せてご記入ください。

- 病児保育は、事前に病院へ行き、診断書の提出が必要なため病気がなった当日に預けることはほぼ不可能。利用者の使い勝手を良くするための工夫がほしい。
- 登録制なので、事前の準備が必要。また、事前の面接も必要なため、市内で利用する場合、せめて市が行なっているサービスに関しては事前登録などの手間を短縮してもらいたい。
- 一時保育をお願いするのに色々手続きが大変そうだったので気楽に預けられるようにしてほしい。

36

16. 全ての親が希望する数だけ子供を産み育てられるようになるためには、どのような制度・支援があればよいと考えますか。

- 制度支援があっても、当事者にうまく情報が届いてないため本当に支援が必要な人に十分な情報が届く取り組みをしてほしい。
- 特に小さいうちの育児は孤独であり過酷であるため、相談できたり、気晴らしできる施設やイベントを増やしてほしい。
- 所得制限の撤廃、年少扶養控除復活してほしい。
- 児童手当ではなく、オムツやミルクの給付をしてほしい。
- 子どもの医療費無償化や定期的な子育て給付金(高校生まで)があるともう一人出産したいと思う。
- ランドセルプレゼントなど子育てに必要な物を支給してほしい。
- 不妊治療に対する支援をより手厚くしてほしい。
- 全ての保育園で病児対応をしてほしい。
- 出産記念樹はいらないからおむつなどがほしい。

37

- 男性の育児参加を促す会を作ってほしい。
- 第二子以降の出産、子育て費用/不妊治療費/出産費用/住宅費用/学費/妊娠がわかってから出産一年後まで、幼稚園に通っている兄姉の延長保育/母子手帳交付から出産までの妊婦検診・妊婦が通院する病院までタクシー/妊婦健康診査から分娩にかかる費用/一時預かり保育/給食費/定期検診/インフルエンザワクチン/チャイルドシート購入の助成金・無償化・補助

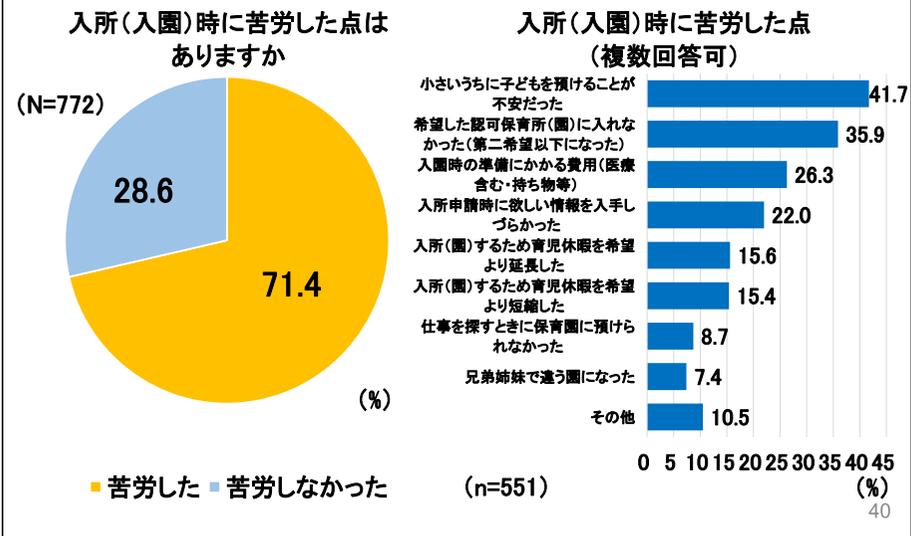
38

参考資料 ②

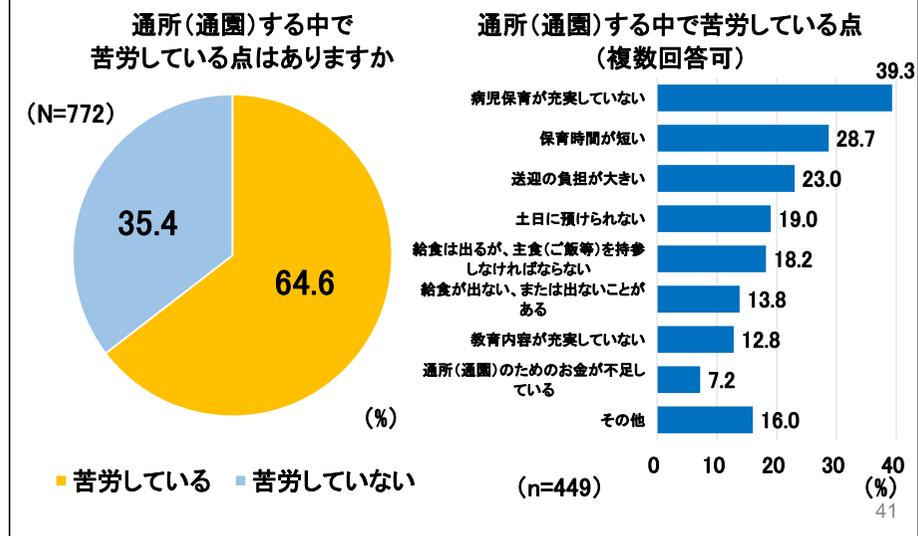
グラフー覧(アンケート結果より作成)
保護者アンケートのみ
大学生アンケートは未掲載

39

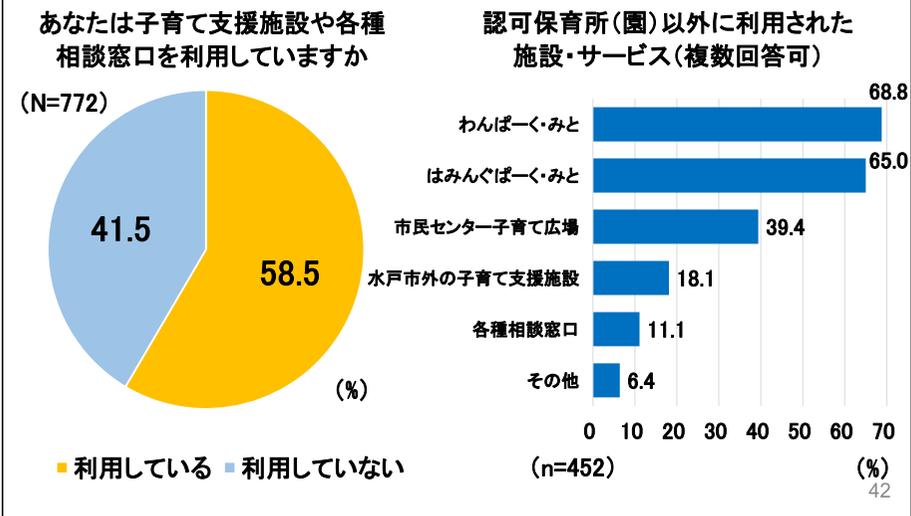
7割以上が入所(入園)時に苦勞



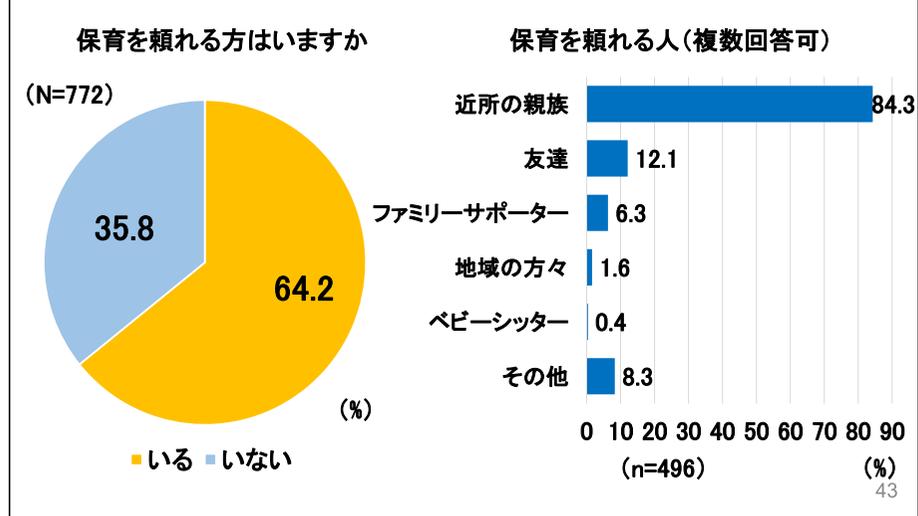
6割以上が入所(入園)中も苦勞



4割以上は施設・サービスを利用していない



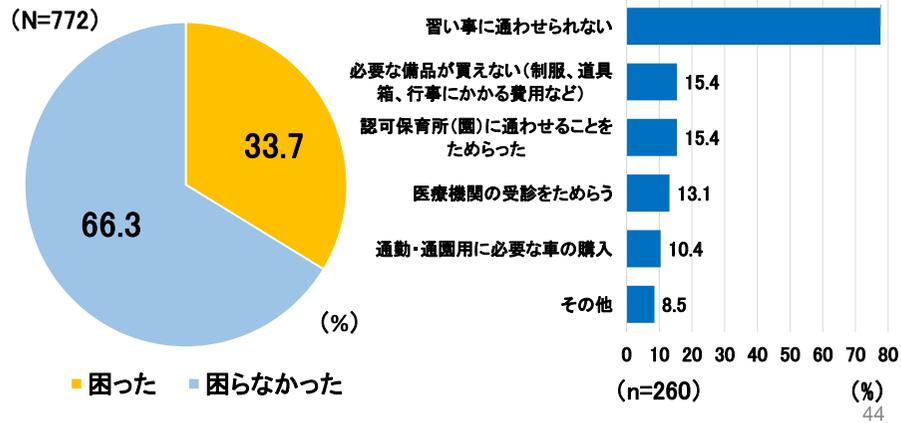
3人に1人は保育を頼れる人がいない



3人に1人は経済的な理由で子育てに困る

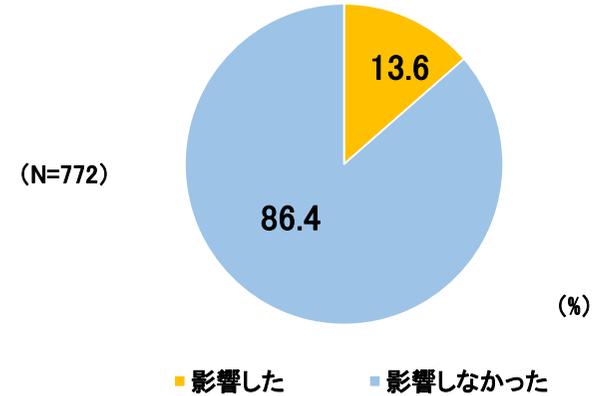
経済的な理由から、子育てに困ったことはありますか

経済的な理由から子育てに困ったこと (複数回答可)



経済的事柄は出産の決断に影響することも

出産の決断に際して、経済的な事情は影響しましたか

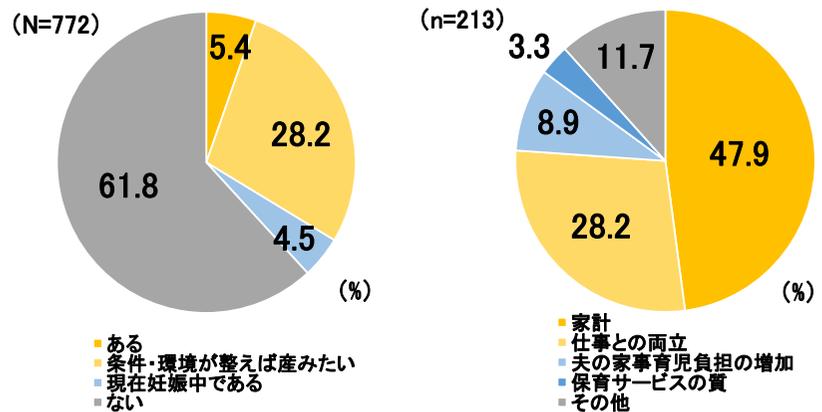


45

経済支援は少子化対策につながる

今後出産予定はありますか

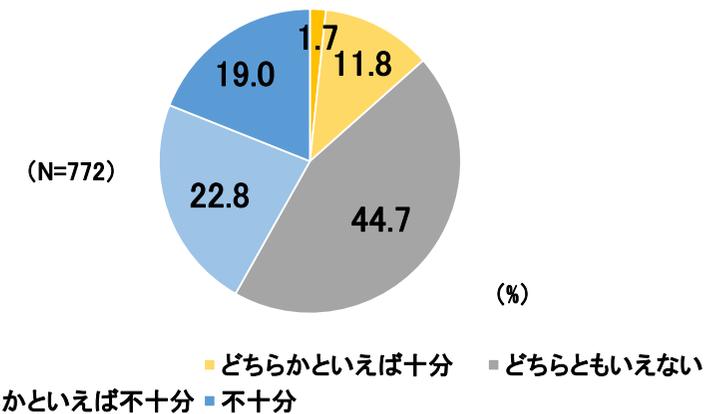
どのような条件・環境が整えば産みたいと考えますか



46

4割以上は経済支援を十分に感じていない

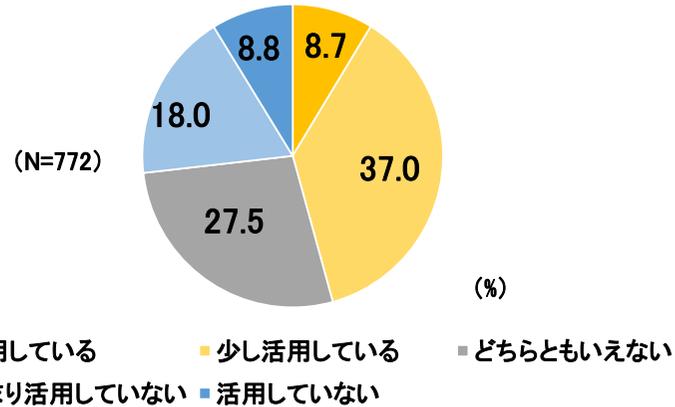
水戸市の子育て世帯への経済支援は十分ですか



47

4人に1人は情報や制度を 活用していない

水戸市の情報や制度をどの程度活用していますか

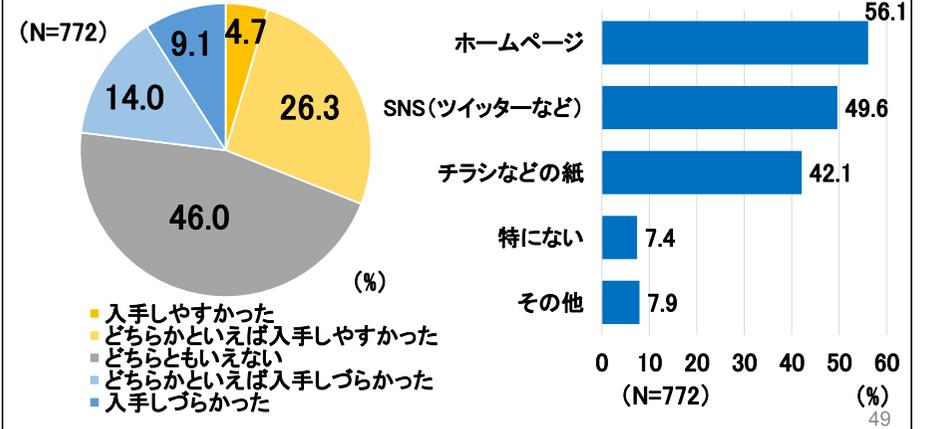


48

情報の入手手段は オンラインが人気

水戸市の子育てに関する情報は
入手しやすかったですか

情報の入手手段として便利だと思うの
はどれですか(複数選択可)



参考資料③

水戸市の子育て支援センターの 改善提案

50

提案①

椅子やテーブルを増やし利用者が交流しやすくしてほしい

じょうずるはうす(参考事例)

はみんぐぱーくみと



カフェを併設、複数の椅子とテーブルを設置することで利用者の距離が近くなり、相談しやすい雰囲気を作ることができる

51

提案②

年齢によって遊ぶスペースを区分してほしい

はみんぐぱーく・みと



わんぱーく・みと



部屋を区切り乳幼児優先スペースをすることによって利用者が安心することができる

52

見学して分かったこと

じょうずるはうすは 水戸の2つの施設に比べて

- 茨城キリスト教大学の学生に毎週読み聞かせに来てもらうなど他団体との協力が多い
- 交流スペースとカフェが設置されていることでママ友を作りやすい
- 一歳限定、0歳児を初めて育てているお母さん限定など同年代の子供がいる母親同士の交流の場が充実
- 年次別で部屋が区切られている(水戸のはみんぐぱーくも)
- 駐車場が広く場所もわかりやすい
- 手続きが簡単・・・予約不要で市外在住者も多数利用
- 幅広い年齢層の子が遊ぶことができる

53

3 大学生によるまちづくりプレゼン発表会 発表資料

(4) 土屋 和子ゼミナール

認知症カフェから考える 高齢者が集う居場所づくり ～官民連携で創り出す福祉のまちづくり～



茨城大学 人文社会科学部 法律経済学科
社会保障法ゼミナール
加藤大智(4年) 岩崎由姫(4年)
吉成理紗(3年) 川俣美羽(3年) 卜部日菜(3年)

テーマ「福祉の充実」

2025年以降、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる
→誰もが気軽にかつ快適に高齢者福祉サービスを受けられることが
必要

「水戸市第6次総合計画」及び「水戸市第8期高齢者福祉計画
介護保険事業計画」に基づいて、高齢者福祉施策に関する現状や
課題を調査

第7次総合計画で福祉のまちづくりを推進することを提案

認知症カフェって
なに？

認知症カフェには
どうやって行くの？

認知症カフェを
どうやって知るの？

1. 認知症カフェとは何だろう

● 高齢者をとりまく課題

認知症の人とその家族への支援

今後、認知症の人の増加が見込まれることから、認知症の人やその家族の視点を重視しながら、地域の中で自分らしく暮らし続けられるように、認知症への社会の理解を深め、認知症とともに生きる社会の実現に向け取り組む必要があります。

● 水戸市が現在取り組んでいる6つの重点施策のうちの1つ

重点施策3 認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進

- ・地域住民や、生活環境の中で認知症の人と関わる機会が多い職種、学校教育等における認知症への理解の促進を図るとともに、認知症の人とその家族を温かく見守る認知症サポーターの養成及び継続的な活動支援を推進します。
- ・認知症の人の視点を施策に反映させるため、本人による情報発信及び相談活動等を支援します。また、認知症の人が自身の希望や必要としていることなど本人同士で語り合う取組を普及します。
- ・認知症の発症遅延及び重症化予防のため、介護予防の取組を推進するほか、早期発見・早期対応のための体制を整備し、適切な医療・介護サービスの利用を支援します。
- ・認知症の人の家族の負担軽減のため、必要な介護の提供、集いの場の拡充、認知症の人とその家族のニーズに合った活動を行う支援体制の整備及び若年性認知症の人への相談支援に努めます。

●現在水戸市で行われている認知症に関する施策



認知症カフェ

認知症チェックセミナー
認知症456(すごろく)
認知症789(しち・はち・きゅう)
認知症初期段階の高齢者が集い情報発信する本人ミーティング
認知症サポーター養成講座
認知症高齢者等家族支援位置探索サービス
認知症高齢者等見守り声かけ訓練
脳の健康教室
元氣アップ・ステップ運動サポーター

→主体性や当事者性を重視した質の高い取り組み

●認知症カフェとは？

2015年に厚生労働省が発表した認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)にて

各自治体で実施を義務化

**認知症当事者及びその家族だけでなく
地域住民など誰でも参加できる交流の場**

水戸市では・・・

開催場所：市の施設(市民センター等)
及び高齢者福祉施設

参加人数：平均約12人/1回
(令和3年度4月～令和4年度9月)

番号	名称	開催日(時間)	開催場所(住所)	お問い合わせ先
①	わ・らってCafe	毎月第1水曜日 (13:30～15:30)	特別養護老人ホームくせい (東區3-2-7)	電話:303-7373 特別養護老人ホームくせい
②	となりの隣り	毎月第2土曜日 (14:00～15:00)	茨城県保健衛生会館 (磯原3-5-35)	電話:100-9919-4829 NPO法人とらに歩む認知症の会・茨城
③	思い出カフェ	毎月第3日曜日 (9:30～11:30)	まるごとカフェ (鹿沼1475-17)	電話:246-6216 東部高齢者支援センター
④	オレンジサロン ふねざわカフェ	毎月第3水曜日 (14:00～15:30)	トーナルケアサービスヘルス (水沢町82-3)	電話:704-4605 トーナルケアサービスヘルス
⑤	どうぶつカフェここ	毎月第4日曜日 (13:30～15:00)	みと東部特別養護老人ホーム (鹿野1177-3)	電話:350-6100 みと東部特別養護老人ホーム
⑥	和みカフェ(貝和)	毎月第1水曜日 (10:00～12:00)	貝和市民センター (見和224-1)	電話:741-4821 南部第二高齢者支援センター
⑦	和みカフェ(千波)	毎月第2木曜日 (13:00～15:00)	いまいま交流センター-栗山荘 (千波町1677)	電話:246-6003 北部高齢者支援センター
⑧	ふり笑茶	毎月第3日曜日 (13:30～15:00)	水戸市立西部図書館 (竜町2311-1)	電話:246-6003 北部高齢者支援センター
⑨	認知症の方と家族の集い	毎月第2木曜日 (10:00～11:30)	市福祉ボランティア会館 (赤塚1-1)	電話:100-9819-4829 NPO法人とらに歩む認知症の会・茨城
⑩	オレンジサロン	毎月第3日曜日 (10:00～11:30)	市福祉ボランティア会館 (赤塚1-1)	電話:100-9819-4829 NPO法人とらに歩む認知症の会・茨城
⑪	お祭りカフェ希望IN双葉台	毎月第3水曜日 (10:00～11:30)	双葉台市民センター (双葉台2-1-5)	電話:246-6333 西部高齢者支援センター
⑫	お祭りカフェ希望IN大塚	毎月第4木曜日 (14:00～15:30)	サービス付き高齢者向け住宅 かたくりの家(大塚町1763-9)	電話:246-6333 西部高齢者支援センター
⑬	お祭りカフェ希望IN桜川	毎月の第4金曜日 (14:00～15:30)	桜川市民センター (河和町2894-4)	電話:246-6155 西部高齢者支援センター
⑭	ニコニコサロン	毎月第3土曜日 (13:30～15:00)	特別養護老人ホームグリーンハウスみと (毎崎町3503)	電話:257-5444 内原高齢者支援センター
⑮	うちっカフェ	毎月第3金曜日 (10:00～11:30)	特別養護老人ホームもみじ館 (観音町2222-1)	電話:257-5444 内原高齢者支援センター

●これからの認知症カフェ

2025年以降、後期高齢者が増加するため、認知症カフェの数も増やす必要がある



現在のサービス内容の質は落とさず、開催場所を増やす



第7次総合計画中に福祉のまちづくりを達成するためには、高齢者の居場所づくりを拡大する

●認知症カフェにおけるソフト面の整備

高齢者、認知症の方を思いやる気持ち

認知症に関する相談をしやすいように、専門職を配置
→その際、親身になって相談に乗る

コーヒーを無料で提供

●他の自治体の取り組み

【東京都町田市の例】Dカフェ



スターバックスコーヒー町田金森店

町田市に問い合わせたところ…

- ・「高齢者福祉施設に行くのはハードルが高い」(初期認知症当事者の意見)
→スターバックスコーヒー(全9店舗)で開催
- ・参加人数：延べ人数約1800人/スターバックスコーヒー9店舗のみ
(平成30年度～令和元年度)

- ・**飲食店等で開催した結果、
認知症当事者及びその家族だけでなく
地域住民など誰でも参加しやすくなった**



●認知症カフェの開催場所を増やすためには

→**市の施設や高齢者福祉施設だけでなく、飲食店等で開催する**



●まとめ

認知症カフェとは何だろうか

↓

2025年以降、後期高齢者が増加するため、
認知症カフェの数も増やす必要がある

↓

東京都町田市では、認知症カフェを飲食店等で開催している

↓

水戸市の認知症カフェを飲食店等でも開催する

↓

**認知症当事者及びその家族だけでなく地域住民など誰でも参加
できる交流の場へ**

2. 認知症カフェにはどうやって行くのだろうか

●水戸市が行っている移動支援施策

移動支援施策	デメリット
介護保険給付及び介護予防給付における通所施設の送迎サービス	通所支援サービスを利用している高齢者のみが利用可能
通院等支援サービス	①利用者の制限 (要介護3～5かつ非課税世帯の高齢者のみ) ②利用先の制限 (医療機関や介護保険施設への送迎のみ) →認知症カフェはサービスの対象外
水都タクシー(旧：1000円タクシー)	①休日や祝日の運行が少ない ②水戸市内の一部地域でのみ運行されており、利用できる地区が限定されている →事業規模が小さい

●水戸市内の認知症カフェの開催場所

塩崎町：特別養護老人ホーム
グリーンハウスみと



堀町：水戸市立 西部図書館



●他の自治体の取り組み

【長崎県佐世保市の例】

・社会福祉協議会所有の車両を、稼働時間外（10:00～15:00）にボランティア団体「こさざ・すまいる会」へ無償で貸し出し

- ・買い物や通院、地域活動に出掛ける高齢者を支援
- ・利用料金：一律500円/1回の送迎
- ・燃料費：社会福祉協議会の負担

★運営方法

運営費を含めた1回500円の利用料であれば

「運送の対価」とはみなされない

→付き添い支援が中心であり、運送はそれに付随するもの

→白タクには当たらない！



●自力で行けない高齢者を認知症カフェへ

稼働時間帯が朝・夕方などに限られている学校や福祉施設等所有の送迎車両

→**空き時間を利用して、認知症カフェの送迎に活用**

依頼先の一例

- ・幼稚園や小学校
- ・スポーツクラブ
- ・ホテル
- ・バス会社



●まとめ

認知症カフェにはどうやって行くのだろうか



現行の移動支援施策上、認知症カフェの送迎はできない



長崎県佐世保市では、
社会福祉協議会所有の車両をボランティア団体に貸し出している



民間所有の車両を活用して、自宅から認知症カフェまでの移動支援サービスを新たに創り出す



認知症カフェを認知症当事者及びその家族だけでなく地域住民など誰でも参加できる交流の場へ

認知症カフェの情報はどうやって知るのだろうか？

●水戸市が行っている認知症カフェの情報提供



●ICTによる情報発信の需要

水戸市 第8期高齢者福祉計画 介護保険事業計画

対象団体	主な意見
水戸市老人福祉施設連絡会	<ul style="list-style-type: none"> (1) 介護相談員派遣事業を有効なものとするため、回数や手法等の検討をしてもらいたい。 (2) 介護老人福祉施設、介護老人保健施設の新規整備・増床について、情報を提供してもらいたい。 (3) <u>メール等のICTを活用した情報共有をしてもらいたい。</u> (4) 新型コロナウイルス感染症対策についての情報を共有してもらいたい。
介護労働安定センター茨城支部	<ul style="list-style-type: none"> (1) <u>事業者支援の周知方法について、研修会等での周知に限らず、ICTを活用した情報提供を行ってもらいたい。</u>

**ICTによる
情報発信の需要が、
関係団体側にも
ある！**

●他の自治体の取り組み

【東京都町田市の例】まちだDマップ

まちだDマップ ホーム 認知症の人の声 町田市の取り組み メディア掲載 お問い合わせ



▶▶▶ 2022年3月25日(金)開催 16のまちだアイ・ステートメントから考える「居場所づくり」ワークショップのお申込はこちら

認知症の人と一緒に、住みやすい地域をつくる

町田市では、街全体を認知症フレンドリーにしていきたいことを目指し、行政や企業、住民が関わりながらさまざまな活動が行われています。認知症フレンドリー社会とは、認知症とともに生きるようになった多くの人が、社会から排除されずに、地域住民として、消費者として、普通に暮らしていくことができるような社会のこと。まちだDマップ（本ウェブサイト）は町田市内で行われる認知症フレンドリーなまちづくりに向けた活動を紹介するウェブサイトです。町田市の公式ホームページではなく、NPO法人認知症フレンドシップクラブがまとめた行政・民間を巻き合わせた活動が紹介されています。

当事者中心のタイプ

※一部抜粋

名称	活動内容、PR、参加費など
認知症とともに歩む・本人会議	安心して暮らせる町を目指して、出来ることをしていこうという、認知症当事者の集まりです。一人の力は小さくても集まれば何かが出る、気軽にご参加ください。(食事代：500円)

家族交流会タイプ

名称	活動内容、PR、参加費など
認知症本人と介護者とサポーターの交流会	認知症本人、家族、サポーターが共に過ごせる時期に一緒に集まり交流しています。どなたでも参加できます。(参加費：昼食、お茶代1000円)

認知症カフェタイプ

名称	活動内容、PR、参加費など
Cafe 響きの森	認知症の方、ご家族、地域の方が気軽に楽しんでいただける音楽会のようなカフェです。軽食とコーヒーでお待ちしています。

● ICTを推進した情報の発信へ

水戸市LINE公式アカウント



認知症カフェの情報を得るには操作や設定を自らしなくてはならない
情報量が少ない



認知症カフェの情報を利用者全員に対して積極的に発信する

閲覧方法：基本メニュー→高齢者介護→認知症カフェのページ

情報の受信：高齢者福祉に関する情報が送られてくるように設定可能



● まとめ

高齢者はどうやって認知症カフェの情報を受け取るのだろうか



現在、水戸市は情報の提供が主に紙ベースで、しかも情報量が少ない



町田市ではICTを推進した情報提供が行われている



水戸市LINE公式アカウントを利用して、認知症カフェに関する情報を積極的に発信する



認知症カフェを認知症当事者及びその家族だけでなく地域住民など誰でも参加できる交流の場へ



行政だけの力で
実現できるのだろうか？

CSR活動を推進して、
官民連携で実現しよう！

CSR活動の推進

近年注目されているCSR活動を推進して、3つの提案を民間企業と協力して実行する

● CSR活動（企業の社会的責任）とは？

企業は利益を追い求めるだけでなく、企業のあらゆる利害関係者が抱える課題を解決し、より良い社会を築くために積極的に社会貢献しようという活動のこと

（例） 少子高齢化対策、地球温暖化対策など

● 水戸市と民間事業者との連携協力

3 連携協力する事項及び連携事業について

連携協力する事項	連携事業
1 安全・安心な暮らしに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 災害時の物資供給等に係る協力 ☑ 水戸市安全なまちづくりモデル地区対策会議に係る協力
2 中産品のブランド振興、地産地消に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 中産品を活用した商品開発【SE】 ☑ 地場農産物の販売促進【VB】【SE】(検討中)
3 高齢者・障害者支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ☑ トイレのバリアフリー化の促進 ☑ 地域見守り活動の推進 ☑ 高齢者等に配慮した食料品の販売促進 ☑ 高齢者の雇用促進 ☑ 障害者の雇用促進【VB】 ☑ 認知症サポーターの養成
4 子ども・青少年育成に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 地域見守り活動の推進 ☑ 職場体験の推進 ☑ 子ども・青少年の安全を守るに係る協力 ☑ 青少年の健全育成に係る協力
5 スポーツ・文化の振興に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 茨城国体開催に向けたPR等に係る協力 ☑ 水戸黄門漫遊マラソンに係る協力 ☑ 文化事業のPR等に係る協力
6 環境対策・リサイクルに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ☑ レジ袋削減の推進【VB】 ☑ エコ・ショップ制度に係る協力【VB】 ☑ PETボトル拠点回収の推進【VB】
7 情報発信に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 広報紙等の配置 ☑ 観光情報等のポスター・チラシの配置
8 交通の利便性向上に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ☑ バス待ち環境向上に係る協力【VB】(検討中) ☑ 自転車利用の促進
9 1から9のほかに、水戸市、セブン等が必要と認める事項に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 防災に関する普及啓発

認知症サポーターの養成

1. 認知症カフェの開催場所の提供
2. 送迎車両の貸し出し
3. 官民連携で新たな情報発信の開発

↓
CSR活動で実現

私達の提案

2025年以降、後期高齢者の増加に伴い、認知症カフェの開催場所を増やすため、飲食店等の店舗でも開催すること

ICTの推進により、水戸市LINE公式アカウントで積極的に認知症カフェの情報を配信すること

認知症カフェまでの送迎をするため、民間所有の車両を借りて、新たに移動支援サービスを創り出すこと

↓
CSR活動を推進して
実現しよう！

出典

【西論】認知症事故リスク 救済制度創設、国は重い腰上げよ - 産経ニュース (sankei.com)
 水戸市 第8期高齢者福祉計画 介護保険事業計画
<https://www.city.mito.lg.jp/uploaded/attachment/11526.pdf>
 まちだDマップ 町田 出張認知症カフェ (D-Cafe) - まちだDマップ 認知症フレンドリーコミュニティまちだ (dementia-friendly-machida.org)
 町田 出張認知症カフェ (D-Cafe) - まちだDマップ 認知症フレンドリーコミュニティまちだ (dementia-friendly-machida.org)
https://www.city.mito.lg.jp/uploaded/life/37177_65869_misc.pdf
<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/645214/>
 高齢者の買い物に 福祉車両を無償貸与 | 長崎新聞 (nordot.app)
 まちだDマップ まちだDマップ - まちだDマップ 認知症フレンドリーコミュニティまちだ (dementia-friendly-machida.org)
 Dカフェ - まちだDマップ 認知症フレンドリーコミュニティまちだ (dementia-friendly-machida.org)
<https://www.city.mito.lg.jp/uploaded/attachment/11526.pdf>
<https://www.city.mito.lg.jp/page/4083.html>
[4837.pdf \(mito.lg.jp\)](https://www.city.mito.lg.jp/4837.pdf)
 町田市 スタバと提携 認知症の生活支援 | 町田 | タウンニュース (townnews.co.jp)
 認知症カフェ スタバで開催 市民に身近 深まる理解 : 東京新聞 TOKYO Web (tokyo-np.co.jp)
<https://www.dementia-friendly-machida.org/%E7%94%BA%E7%94%B0%E5%B8%82%E3%81%AE%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%81%BF/d%E3%82%AB%E3%83%95%E3%82%A7/>

現在の高齢者施策をさらに発展させ、 高齢者の居場所づくりを拡大することを提案します



介護助手の普及による 介護人材不足の解消



～高校生が担い手となる福祉のまちづくり～

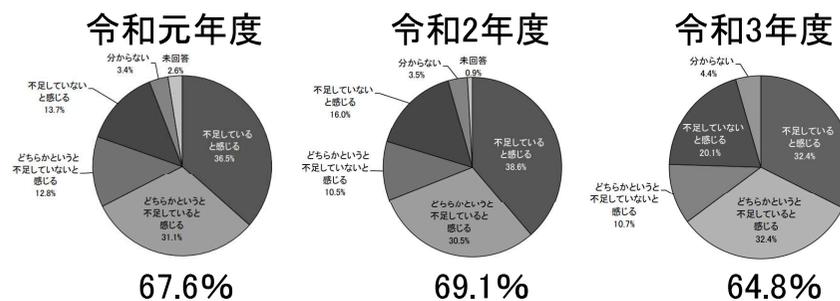


茨城大学 人文社会科学部 法律経済学科
 社会保障法ゼミナール

大須賀 文音 (4年) 山本 翠 (4年) 三村 拓末 (3年)

水戸市の人手不足に対する現状

介護人材に対する不足感



「水戸市介護人材の確保に関する事業所実態調査結果報告書」

水戸市第8期高齢者福祉計画介護保険事業計画重点施策

- 重点施策 1 介護予防と健康づくりの推進
- 重点施策 2 成年後見制度の利用促進
- 重点施策 3 認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進
- 重点施策 4 介護人材の確保**
- 重点施策 5 介護離職防止への取組
- 重点施策 6 在宅医療・介護連携の推進

具体的な事業内容

具体的施策 1 介護人材の確保				
【主な取組】				
No.	事業名	事業内容	具体的な取組の実績（令和3年度）	今後の方針
64	介護人材の確保	[新]介護人材の確保に関する事業所実態調査 事業所実態調査の実施 [新]介護職員が安心して働くことのできる職場環境改善に関するセミナーの開催 ・介護職員処遇改善加算の実施 ・介護人材の働き方支援 [新]官民連携による介護助手養成の推進 ・介護の中心業務に携わってもらうための	①介護人材の確保に関する事業所実態調査 299事業所回答（回収率65.7%） ②職場環境の改善に資するセミナー等の開催 ・座談会：これからの介護を考える ケアカンパレンス水戸（令和3年7月8日） ・テーマ：介護現場における働き方改革 ・研修会：地域密着型サービス協議会管理者等研修会（令和3年11月18日） ・テーマ：感染症対策について 講義会：介護サービス事業所管理者等研修会（令和4年2月15日） ・テーマ：介護職の働きがいにつながるコミュニケーション ③介護サービス事業所における介護職員処遇改善研修会の実施 ④介護助手養成講座の開催（官民協働事業） ○回 87人参加 ⑤介護の未来の展望 ・広報紙への特集記事（介護の現場で働く、地域のカ・シニアの方）の掲載	【既存の取組】継続 【新たな取組】 ①令和4年度10月報酬改定による介護職員等ベースアップ等支援加算の制度周知

官民連携による介護助手養成の推進

水戸市の取組み

官民連携による介護助手養成の推進

→介護助手養成講座の開催

開催回数 5回

参加人数 87人



元気な高齢者が健康づくりをしながら介護について学び、介護助手として活躍してもらうことを目的に開催

出典 <https://lucky-ibaraki.com/news/177440/>



厚生労働省の取組み①

「介護助手」等の普及を通じた介護現場での多様な就労の促進事業（令和4年度から）

事業内容

- ①都道府県福祉人材センターに「介護助手等普及推進員（仮称）」を配置
→市町村社会福祉協議会等を巡回して周知活動
→介護助手等希望者の掘り起こし
- ②介護職の業務の機能分化や介護助手等のステップアップの手法を助言
- ③介護助手にかかる求人提出の働きかけを行う
→介護の周辺業務を担う人材の確保を促す

他の自治体の取組み(三重県)

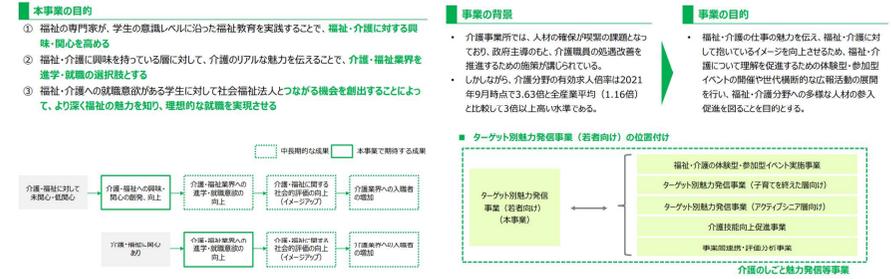
三重県は、平成27年から介護助手の導入に取り組んでいる



出典 「介護助手の導入支援について」より <https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000827837.pdf>

厚生労働省の取組み②

介護の仕事魅力発信等事業ターゲット別魅力発信事業(若年層向け)



「社会・援護局関係主管課長会議資料令和4年3月」より

若年層に介護業界に参入してもらうための取組みが行われている

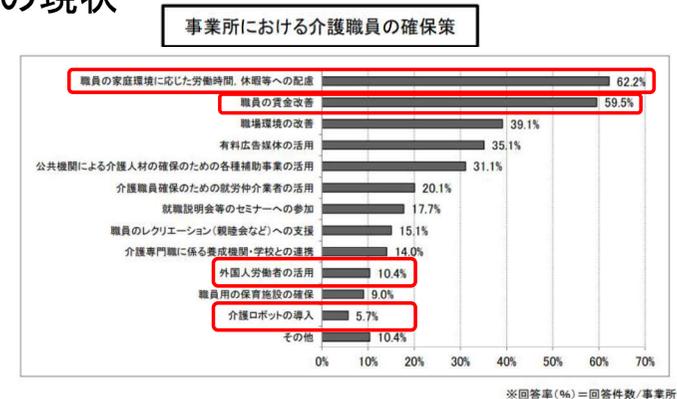
まとめ

介護人材不足のため

- ①介護助手の普及・推進
- ②若年層に介護業界への参入を促す

→自治体レベルで取組みが始まっている

水戸市の現状



「令和3年度水戸市介護人材の確保に関する事業所実態調査結果報告書p12」

事業所において介護助手の活用はされていない

私達の提案

介護助手×若年層

若年層に介護助手として参加してもらい、介護人材を確保

→その中でも高校生に着目

なぜ高校生に着目したか

①高等学校数と生徒数

水戸市及びその近郊には高等学校がたくさんあるため、毎日13,000人弱の高校生が水戸市内にいる

	高等学校数	生徒数
公立	8校	6,546名
私立	8校	6,170名
計	16校	12,716名

令和4年現在

なぜ高校生に着目したか

②高校生のアルバイトと校則

→水戸市内の公立高校生は、アルバイトができる

- 校則上、アルバイトを全面禁止している高校はない
- 原則禁止でも、例外で認められている
- 禁止していない場合でも、条件等の制約がある

なぜ高校生に着目したか

③高校生のアルバイトの条件

→非常に制約がある

- 経済的理由/家庭の事情
- アルバイトの内容(職種/時間/期間)

まとめ

- ① 高校生の数が多いため、たとえ1%しか介護助手にならなかったとしても、127人も確保できる
→介護人材の量の確保
- ② 高校生でも校則上、アルバイトはできる
→学校関係者の理解を得ることが求められる
- ③ 厳しい条件(制約)があり、アルバイトの選択肢が少ない
→介護助手を選択肢の一つに入れられれば、他職種に流れにくい



高校生は興味を持ってくれるだろうか？

アンケート調査「介護職に関する意識調査」

○調査期間

高校生 令和4年11月17日、大学生 令和4年11月15日、17日

○対象

水戸市内の高校生452名(1年生119名、2年生163名、3年生170名)
茨城大学の学生 174名(1年生、2年生、その他)

○目的

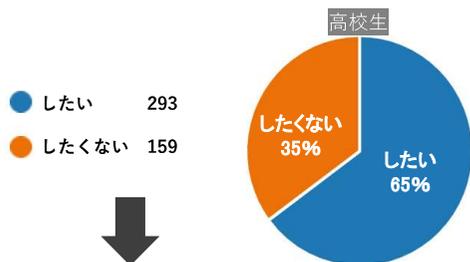
高校生及び大学生が介護助手になることは介護人材の確保に有効か否か明らかにする
高校生及び大学生の介護助手への興味関心を明らかにする
高校生及び大学生をアルバイトとして受け入れる場合の配慮すべきことを明らかにする

○内容

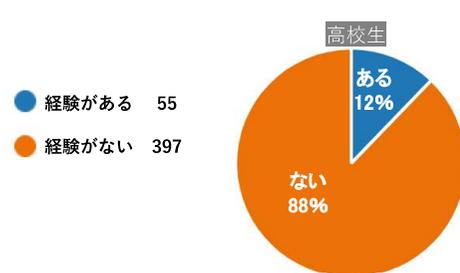
アルバイトと介護助手に関するイメージ調査(巻末資料参照)

結果①—1 介護助手のアルバイトへの関心

Q.現在アルバイトをしたいですか



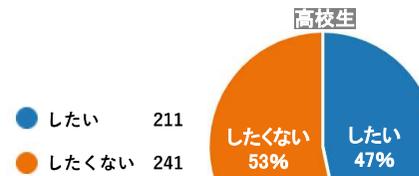
Q. アルバイトの経験はありますか



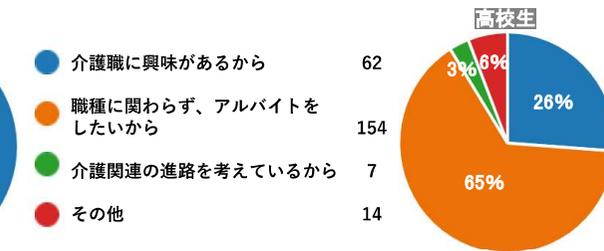
半数以上の高校生がアルバイトを希望

結果①—2 介護助手のアルバイトへの関心

Q. 介護助手のアルバイトが認められた場合してみたいですか



Q. はいと答えた理由(複数選択可)



介護助手のアルバイトをしてみたい生徒が約半数！

高校生を集めることが可能

職種に関わらずアルバイトをしたい高校生が6割以上！

参照① 大学生のアルバイト

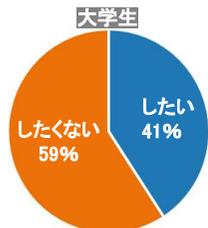
水戸市内の大学数・学生数

大学数
4校(内1校は通信制)

学生数
7122名(通信制を含まない)

高校生の数より少ない

Q.介護助手をしてみたいですか



大学生でもやりたいと思っている人は約4割

Q.現在アルバイトをしていますか



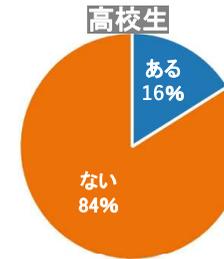
すでにアルバイトをしている人が多い

- ①学校数・学生数・介護助手への関心の比較から、大学生に比べて高校生の方が圧倒的に多い
- ②大学生はすでにアルバイトをしている人が多く、他職種と取り合いになる可能性がある

結果② 高校生のボランティアとアルバイト

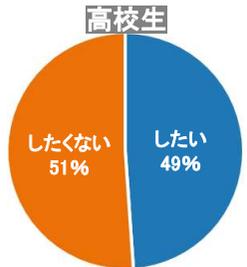
Q. 介護関係のボランティアを行ったことがありますか

● ある 73
● ない 379



Q. 介護関連の仕事ボランティアではなく、アルバイトであったらしたいですか

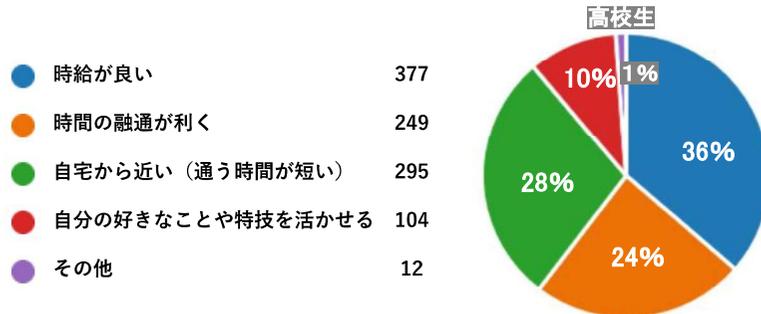
● したい 221
● したくない 231



求められているのはアルバイト！

結果③-1 高校生のアルバイトに対する意見

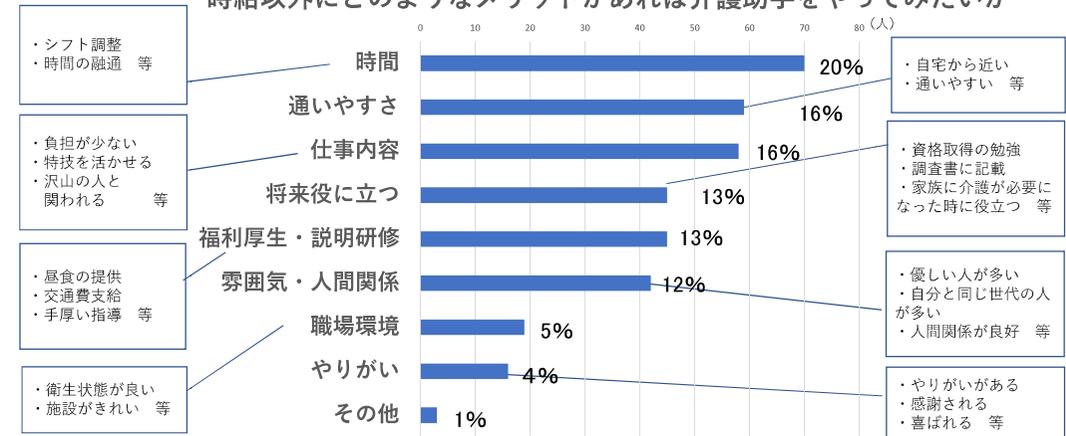
Q.アルバイトをする上で、どのような条件が重要ですか(複数選択可)



高校生をアルバイトで募集する際には、報酬・時間・通勤に配慮することがポイント！

結果③-2 高校生の介護助手への興味・関心

時給以外にどのようなメリットがあれば介護助手をやってみたいか



結果③—3 自由記述(一部抜粋)

介護助手を選んでもらうには？

- ・趣味や特技を生かすことができる
- ・昼食の提供
- ・交通費がでる
- ・服装や身なりの縛りが少ない
- ・同年代の人が多い
- ・友人と一緒に働くことができる
- ・学校の調査書に記載
- ・しっかりした事前研修

働き続けてもらうには？

- ・介護を受ける人だけでなく、自分も楽しめるようなイベントへの参加
- ・いろいろな人とのコミュニケーションの機会がある
- ・介護の基礎知識や接し方に関する講習等の教育環境の整備
- ・優しく仕事を教えてもらえる
- ・一人ひとりの負担が少ない
- ・施設が綺麗である

高校生がアルバイトしたくなる魅力的な職場に！

高校生が介護助手のアルバイトをするために 水戸市がすべきこと

- ① 高校へ働きかけ、アルバイトの許可を得る
- ② 介護施設へ働きかけ、受け入れの許可を得る
- ③ 高校生を対象とした、介護助手養成講座を開催する

高校と介護施設
を繋ぐ役割

高校生への研修

介護助手養成講座を高校で開催

高校生は講座
申込みを高校
へ提出

高校が講座開
催者へ申込み

高校で講座を
開催

高校で開催することで、参加しやすい！
受講することで、アルバイトへの不安が解消！

私たちの提案

現在：水戸市では介護助手養成の取組みを行っている

新しい取組み：高校生を介護助手にする

調査結果より：高校生はアルバイトがしたい
介護助手のアルバイトに興味がある

高校生を介護助手のアルバイトに！

最後に

2025年以降、後期高齢者の増加に伴い、
第7次総合計画では、さらなる福祉の充実を目指す必要がある
→私たちは、福祉のまちづくりを提案

具体的提案

第1グループ 高齢者の居場所づくり

第2グループ 介護人材の確保

最重要課題
福祉のまちづくり

ご清聴ありがとうございました

茨城大学 人文社会科学部 法律経済学科
社会保障法ゼミナール

巻末資料1

高校生 介護職に関する意識調査

① 調査の概要

ア 調査目的

高校生のアルバイトは、介護助手の増加に繋がる有効な手段であるか
高校生のアルバイトとして、介護助手は選択肢に入るのか
高校生をアルバイトとして受け入れる際に、配慮すべきことは何か

イ 調査対象者

水戸市内の高校生452名(1年生119名、2年生163名、3年生170名)

* 性別の内訳に関しては不明であるが9割以上が女性

ウ 調査期間、調査方法

令和4年11月15日～令和4年11月17日

Microsoft Formsを使用して、調査票を作成・配布・回収

② 調査の結果の概要

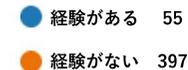
回答者の学年は、1年生が26%、2年生が36%、
3年生が38%となっています。

図-1 学年内訳



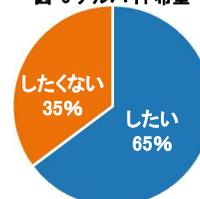
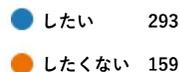
長期休暇を含めアルバイトの経験がある高校生が88%、
経験がない高校生が12%となっています。

図-2 アルバイト経験



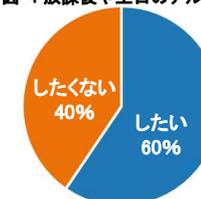
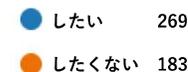
アルバイトを希望している高校生が65%、
希望していない高校生が35%となっています。

図-3 アルバイト希望



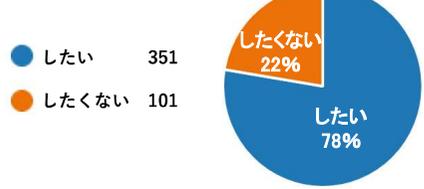
「放課後や土日」にアルバイトをしたい高校生が60%、
したくない高校生が40%となっています。

図-4 放課後や土日のアルバイト



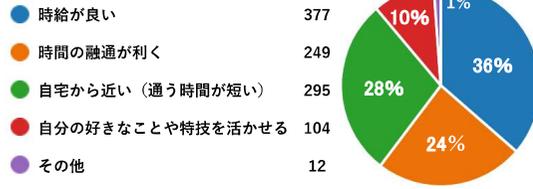
「夏休みや冬休みの長期休暇」にアルバイトがしたい高校生が78%、したくない高校生は22%となっています。

図-5 長期休暇中のアルバイト



高校生がアルバイトをする上で重要な条件は、「時給が良い」が36%と最も多く、次いで「自宅から近い」が28%、「時間の融通が利く」が24%となっています。

図-6 アルバイトをする条件



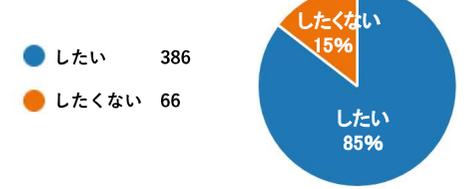
「介護助手」という仕事を知っている高校生が40%、知らない高校生が60%となっています。

図-9 介護助手の認知度



「好きなことや特技を活かせるアルバイト」をしたい高校生が85%、したくない高校生が15%となっています。

図-10 趣味特技を活かせるアルバイト



介護関連のボランティアに、参加したことがある高校生が16%、参加したことがない高校生が84%となっています。

図-7 介護ボランティアの参加状況



介護関連の仕事がボランティアではなく、「有償アルバイト」の場合、したい高校生が49%、したくない高校生が51%となっています。

図-8 介護関連の有償アルバイト



「介護助手で自分の好きなことや特技を活かせる」場合、したい高校生は65%、したくない高校生が35%となっています。

図-11 趣味特技を活かせる介護助手のアルバイト



介護助手のアルバイトが高校から認められた場合、したい高校生が47%、したくない高校生が53%となっています。

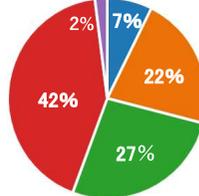
図-12 高校から許可された介護助手のアルバイト



介護助手のアルバイトをしたくないと回答した53% (241人) のうち、したくない理由は「介護助手が大変そうだから」が42%と最も多く、次いで27%が「介護助手についてよく知らないから」となっています。

- アルバイトをする必要が無いから 22
- 介護助手に興味がないから 65
- 介護助手について、よく知らないから 80
- 介護助手が、大変そうだから 127
- その他 6

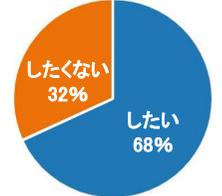
図-14 介護助手をしたくない理由



介護助手の時給が他の職種より高い場合、介護助手をしたい高校生が68%、したくない高校生が32%となっています。

- したい 308
- したくない 144

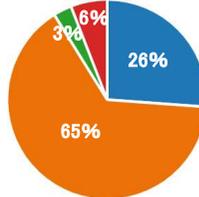
図-15 時給が高い場合の介護助手



介護助手のアルバイトをしたいと回答した47% (211人) のうち、したいと回答した理由は「職種に関わらず、アルバイトがしたい」が65%と最も多く、次いで「介護職に興味があるから」が26%となっています。

- 介護職に興味があるから 62
- 職種に関わらず、アルバイトをしたいから 154
- 介護関連の進路を考えているから 7
- その他 14

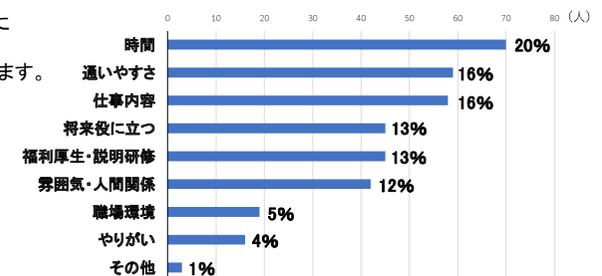
図-13 介護助手をしたい理由



高校生にとって、時給以外に介護助手のアルバイトに必要なメリットは、「時間」が20%と最も多く、次いで「通いやすさ」が16%、「仕事内容」が16%となっています。

具体的に、「時間」にはシフトの自由さ、「通いやすさ」には家や学校から近い、「仕事内容」にはコミュニケーションをたくさんとれる、「将来役に立つ」には親の介護に役に立つ等と回答しています。

図-16 介護助手をやりたいくなるメリット



巻末資料2

大学生 介護職に関する意識調査

① 調査の概要

ア 調査目的

大学生が高校生だった時に、どのようなアルバイトをいたのか
介護助手がアルバイトの選択肢に入るのか
大学生をアルバイトとして受け入れる際に、配慮すべきことは何か

イ 調査対象者

茨城大学の学生 174名(1年生、2年生、その他)

* 性別の内訳に関しては不明であるが、おおよそ6:4で男性の方が多い

ウ 調査期間、調査方法

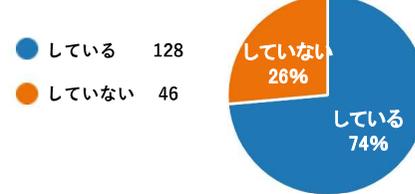
令和4年11月15日～令和4年11月17日

Microsoft Formsを使用して、調査票を作成・配布・回収

② 調査結果の概要

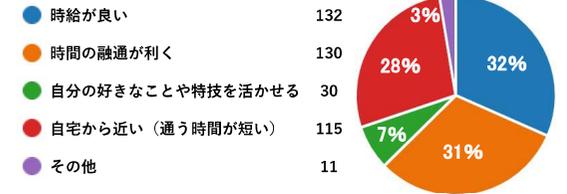
アルバイトをしている大学生は26%、していない大学生は74%となっています。

図-1 アルバイトの現状



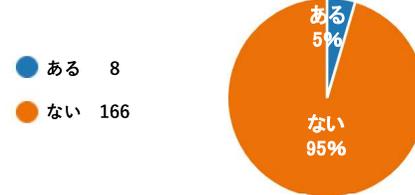
大学生がアルバイトをする上で重要な条件は、「時給が良い」が32%と最も多く、次いで「時間の融通が利く」が31%、「自宅から近い」が28%となっています。

図-2 アルバイトをする条件



介護関連のボランティアに、参加したことがある大学生が5%、参加したことがない大学生が95%となっています。

図-3 介護ボランティアの参加状況



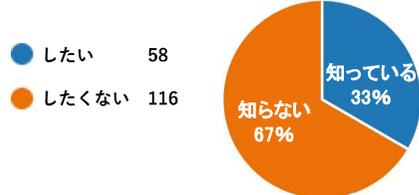
介護関連の仕事がボランティアではなく、「有償アルバイト」の場合、したい大学生が43%、したくない大学生が57%となっています。

図-4 介護の有償アルバイトの参加希望



「介護助手」という仕事を知っている大学生が40%、知らない大学生が60%となっています。

図-5 介護助手の認知度



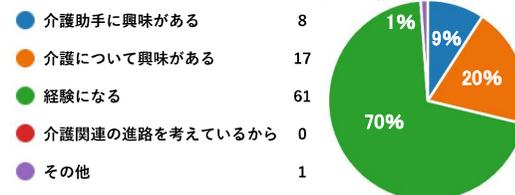
介護助手をしてみたい大学生が41%、したくない大学生が59%となっています。

図-6 介護助手への参加希望



介護助手のアルバイトをしたいと回答した41%(71人)のうち、理由は「経験になる」が70%と最も多く、次いで「介護について興味がある」が20%となっています。

図-7 介護助手をしたい理由



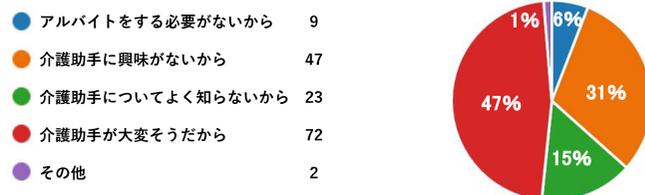
「好きなことや特技を活かせるアルバイト」をしたい大学生が84%、したくない大学生が16%となっています。

図-9 趣味特技を活かせるアルバイト希望



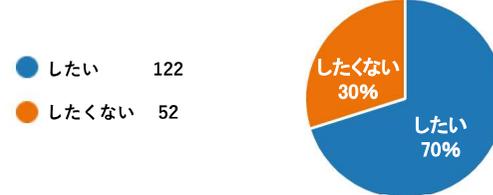
介護助手のアルバイトをしたくないと回答した59%(103人)のうち、理由は「介護助手が大変そうだから」が47%、次いで「介護助手に興味がないから」が31%、「介護助手についてよく知らないから」が15%となっています。

図-8 介護助手をしたくない理由



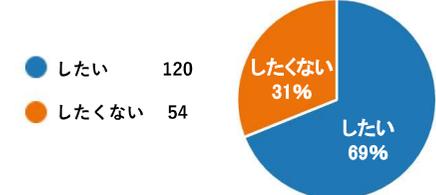
「介護助手で自分の好きなことや特技を活かせる」場合、したい大学生が70%、したくない大学生が30%となっています。

図-10 介護助手への趣味特技での参加希望



介護助手の時給が他の職種より高い場合、したい大学生が69%、したくない大学生が31%となっています。

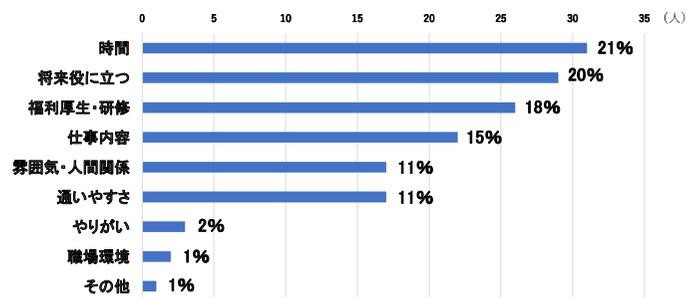
図-11 時給が高い場合の介護助手



大学生にとって、時給以外のメリットで介護助手のアルバイトに必要なメリットは、「時間」が21%、「将来役に立つ」が20%、「福利厚生・研修」が18%、「仕事内容」が15%となっています。

具体的に、「時間」にはシフトの融通が利く、「将来役に立つ」には資格が取りやすくなる、「福利厚生・研修」には交通費支給やまかない、「仕事内容」には、体を酷使しない仕事や高齢者の方のお話が聞ける等と回答しています。

図-12 介護助手をやりたくなるようなメリット



高校生の時にアルバイトをしていた大学生は9%、していなかった大学生は91%となっています。

図-13 高校生の時のアルバイト経験



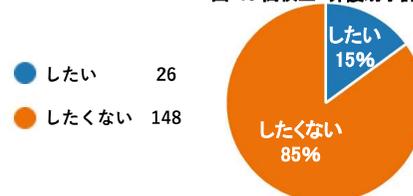
高校が認めていた場合、アルバイトをしたい大学生は37%、したくない大学生は55%、認められていた大学生は9%となっています。

図-14 高校生のアルバイト許可



高校生の時に、介護助手のみアルバイトが認められていた場合、したい大学生は15%、したくない大学生は85%となっています。

図-15 高校生 介護助手許可



3 大学生によるまちづくりプレゼン発表会 発表資料

(5) 原口 弥生ゼミナール

テーマ:地球温暖化 & ごみ問題

環境社会学ゼミ(原口ゼミ)

~Presentation~

1

こんな水戸市が望ましい！！

水戸市での普段の生活を通して
環境意識の向上を目指す！

2

水戸市ゴミ分別の 現状と対策

田澤玲菜 村山圭吾
寒河江乃愛 西村黎

3

この2つ、何が違う？ (撮影日：2022/11/08)

学生Aの家



学生Bの家



4

正しいゴミの捨て方はどっち？

- ▶ 新しいゴミの分別表示に切り替わっていないアパート・マンションがある (令和2年4月から新しい分別方法に！！)

※燃えるゴミ・プラスチックゴミの違いに注目

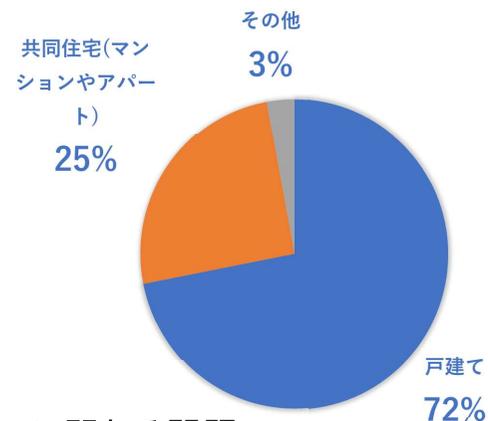
→人によってゴミの捨て方が違う

(そもそも正しい捨て方を知らない人がいる)

→正しい分別が行われず、結果的にゴミが増えている

5

水戸市の戸建て・共同住宅に住む世帯の割合



→**全世界の1/4**に関わる問題！！

(引用元:茨城県水戸市の持ち家・賃貸・戸建ての割合 (statresearch.jp))

6

水戸市の新しいゴミの分け方・出し方

- ▶ 燃えるゴミ

(生ゴミ、紙くずなど)

→**黄色**の収集袋

- ▶ プラスチックゴミ

→**透明か半透明**の中身が見える袋



7

実現可能性のある政策

- ▶ **集合住宅への周知**

▶ 水戸市のアパート・マンション(特に大学周辺)のゴミ分別の表示が新しいモノに切り替わっているかをチェック、管理会社や大家に切り替えるよう促す

- ▶ **市民への透明袋の配布**

▶ 市民の負担となる透明・半透明の袋を各世帯に**無料**で配布する

▶ 透明袋は、**回収した廃プラを原料**とする！

→**ゴミの分別が切り替わったことを周知させるメリットも**

8

コンポスト設置による 食品ロスの改善並びに 環境意識の向上

柏繭子 千葉陽太 片廻洋
佐藤加奈子 石戸谷優貴

9

近年の食品ロス問題に関する動き

- ▶ 持続可能な開発のための2030アジェンダ
(2015年9月国連総会決議)でも言及



食品ロス削減推進法(2019)

コンビニや企業では対策がされてきている一方で、
自治体・住民の取り組みは・・・

10

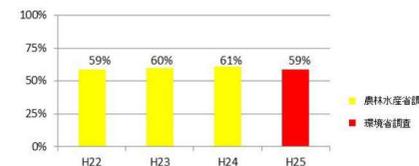
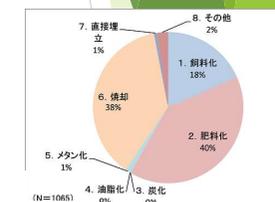
突然ですが・・・

学校給食から発生する
食品ロスの量はどのくらいでしょうか？

11

学校給食から発生する食品ロス等の状況

- ▶ 平成25年度には、児童・生徒一人当たり
約17.2キロの食品ロスが発生
- ▶ そのうち40%ほどが廃棄（うち38%が焼却）
- ▶ 改善の兆しがない近年のリサイクル率



12

「学校給食から発生する食品ロス等の状況に関する調査結果について(お知らせ)」(報道発表資料「環境省」より引用)

水戸市の給食における食品ロス

▶ 配食後の食品ロス

学校給食共同調理場分（中学校15校）の令和4年度10月の残菜の総量：

約17,015キログラム

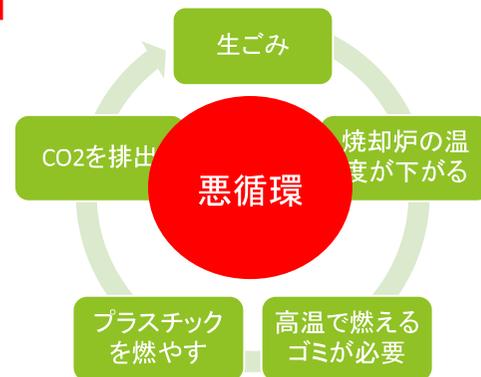
▶ 残菜、調理過程での残渣の処理

- ・学校給食共同調理場・各校で調理を行っている学校

→ **可燃ごみ**として処理

13

▶ 神奈川県葉山町でゴミ担当職員であった服部雄一郎氏によると、リサイクル率が世界的に見て低い原因の一つが、「**生ごみ**」



14

ごみの30%~50%を占める生ごみが資源化に回れば、リサイクル率は大幅にアップ → 「**コンポスト**」を活用



15

学校・学校給食共同調理場にコンポストを設置

【目的】

- ・フードロスの有効活用
- ・フードロスや農業を通じた環境教育
- ・学校を基点とした保護者・市民へのコンポスト利用拡大

八王子市立式分方小学校
“つなげよう段ボール
コンポストの輪”



https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/report/201703-nibukata.html

16

学校・学校給食共同調理場にコンポストを設置

堆肥の活用例

- └学校の畑に利用
- └農家と提携し、堆肥を提供する代わりに生徒の収穫体験を実施



- ・生産地と消費地でのサイクル
- ・将来世代の食品ロスの減少
- ・保護者・市民へのコンポスト利用拡大

17

水戸市の温暖化対策に対する施策の提言

陶山勝太 岩佐良輔 張文荃
羽生修也 盛田麗瞳

18

啓発活動による温暖化対策 —市民の節電意識の向上へむけて—

- ▶ 地球温暖化を「他人事」ではなく「自分事」として認識する必要がある。
「Think Globally Act Locally」
→地球規模で考え、足元から行動する
- ▶ 身近にできる対策の効果は小さいかもしれないが、多くの人々が行う事で大きな効果が発揮される
→そのための「きっかけ」を作る

19

地球規模で行われている「アースアワー」

▶ アースアワー

主催：WWF（世界自然保護基金）
開催日：毎年3月の最終土曜日20:30～21:00
内容：世界中で同じ時間に電気を消す

現地時間で消灯するため、地球全体で「消灯リレー」が行われる。（下図は横浜市でのアースアワー実施時）



※ヨコハマ経済新聞HP「同じ日・同じ時間帯に電気を消して地球を考える「アースアワー2020横浜」に参加しよう 3月28日(土) 20時30分から消灯アクションを！」より引用
(<https://www.hamakei.com/column/319/> 最終閲覧2022年11月21日)

20

日本での普及が少ない「アースアワー」

- ▶ 前回の参加自治体：横浜市、広島市、鹿児島市
→日本ではまだまだ浸透していない
- 水戸市が先進自治体に！**

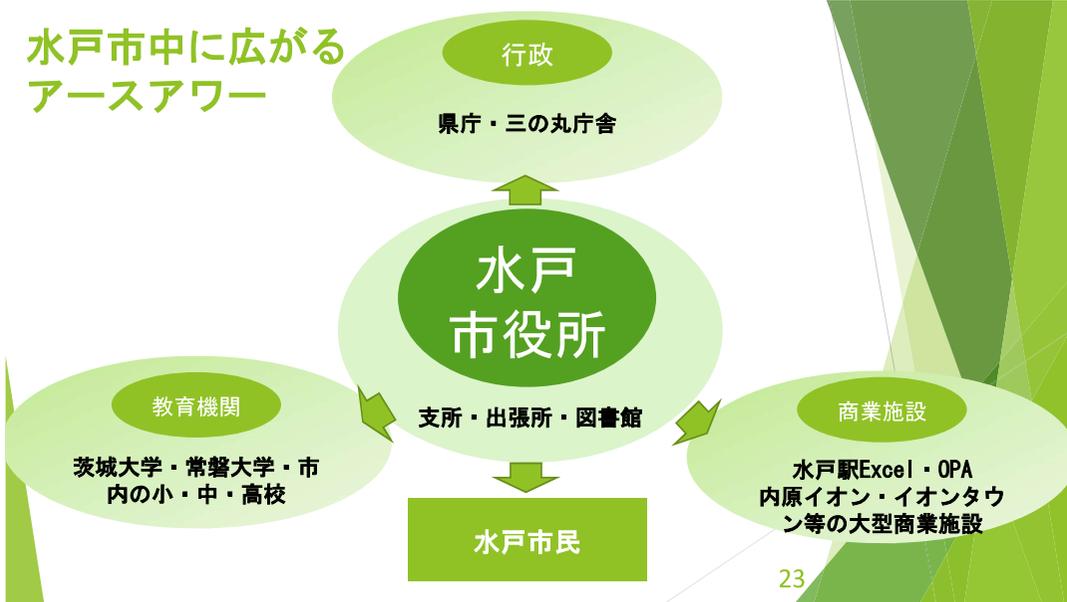
21

アースアワーでの市民・企業へ向けた節電意識の啓発

- ▶ アースアワー啓発取り組みの一例
→市内の教育機関、公共施設や商業施設でのポスター掲示、チラシの配布など
- ▶ 個人レベルで節電の意識を形成させるための環境教育としての効果も期待

22

水戸市中に広がるアースアワー



23

アースアワーの実施による節電意識の醸成

- ▶ 水戸市でアースアワーイベントを行うメリット
 - ・市民への**節電意識の共有**
 - ・自治体としてアースアワーを実施する**先進例となりうる**
- ▶ アースアワーの効果
 - ・市民の節電意識の共有
 - ・消灯による節電

24

最後までご清聴ありがとうございました

25